

住民参画型公園づくりにおける参加者に対する  
エンパワーメントの方法に関する研究  
—滋賀県草津川跡地公園を事例として—

緑地計画学 植田舞

# 研究の背景および目的

## 研究背景

これまで行政や専門家が中心に進めてきた公園づくりにおいて、持続的なマネジメントのために計画段階から市民が参画することが求められており、主体的に活動に関わり続けることが重要

## 研究目的

住民参画型公園づくりを対象に参加者の意識変化のプロセスとそれに影響を与えた要因からエンパワーメントの方法を明らかにする

## 調査対象：滋賀県草津川跡地公園

草津川跡地公園は草津川の付け替え工事によって生じた跡地にできた公園

年	出来事
1982	新草津川工事着手
2002	草津川への通水開始により旧草津川が廃川となる
2011	草津川跡地整備事業において住民参画型ワークショップが開始
2017	草津川跡地公園が開園 指定管理者制度の導入



# 草津川跡地公園における活動の展開

## 調査資料

- ・ 草津川跡地利用基本構想
- ・ 草津川跡地利用基本計画
- ・ 2013年度～2019年度の業務報告書
- ・ 発行されたニュースレター、発表資料および会議録（全81枚） 等

## 調査方法

住民参画に関する出来事を時系列で整理し、活動の展開で年代を区分

意識醸成期		活動準備期		活動初動期		活動展開期		活動 転換期	
2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2020 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
2011年度市民フォーラム	2014年度市民フォーラム	くさねっこカレッジ	PR活動および視察	公園の開園	指定管理者制度の変更	2011年度市民フォーラム	2012年度市民フォーラム	2013年度市民フォーラム	2014年度市民フォーラム
	桜WS	プログラムづくりWS	運営チームの説明会	指定管理者制度の導入	指定管理者の変更	空間デザインを考えるWS	活動のコンセプトを考えるWS	ナイトピクニック	現場見学会
		くさねっこ文化祭	運営チームミーティング	市民活動部会	市民活動部会				ルールづくりを考えるWS
				オープンングイベント	市民活動部会				
				ピクニックフォーラム	指定管理者の変更				
				くさねっこデイ等イベント	指定管理者の変更				
				くさねっこデイ	指定管理者の変更				
				くさねっこWS	指定管理者の変更				

# 草津川跡地公園における活動の展開

## 調査資料

- ・ 草津川跡地利用基本構想
- ・ 草津川跡地利用基本計画
- ・ 2013年度～2019年度の業務報告書
- ・ 発行されたニュースレター、発表資料および会議録（全81枚） 等

## 調査方法

住民参画に関する出来事を時系列で整理し、活動の展開で年代を区分

意識醸成期			活動準備期			活動初動期			活動展開期			活動 転換期															
2011 年度			2014 年度			2015 年度			2016 年度			2017 年度			2020 年度												
2011年度市民フ	2012年度市民フ	空 間 デ ザ イ ン	2013年度市民フ	活 動 の コ ン セ	ナ イ ト ピ ク ニ	桜 WS	2014年度市民フ	く さ ね っ こ カ	プ ロ グ ラ ム づ	く さ ね っ こ 文	ル ー ル づ く り	現 場 見 学 会	運 営 チ ー ム の	運 営 チ ー ム 説	運 営 チ ー ム ミ	PR 活 動 お よ び	く さ ね っ こ WS	く さ ね っ こ デ	公 園 の 開 園	指 定 管 理 者 制	ピ ク ニ ツ ク フ	オ ー プ ン グ	市 民 活 動 部 会	く さ ね っ こ デ	指 定 管 理 者 の	市 民 活 動 部 会	く さ ね っ こ デ

参加者の意識変化のプロセスとそれに影響を与えた要因をとらえる

る  
WS

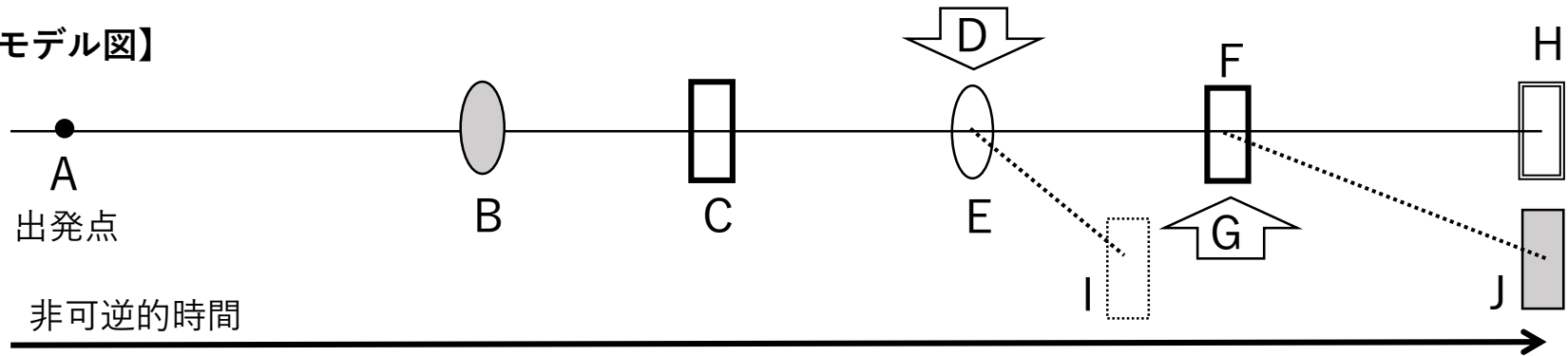
↑

↑

# 複線径路・等至性モデルを用いた解析手法

複線径路・等至性モデル…時間経過の中で意識変化と外的要因との関係性をとらえる手法

【モデル図】



凡例



B：必須通過点  
…ほとんどの人が経験せざるを得ない出来事



C,F：迂った径路



D：社会的方向づけ  
…行動を抑制する外的要因



E：分岐点  
…複数の径路が発生する地点



G：社会的助勢  
…行動を続ける方向へ行動を誘導する外的要因



H：等至点  
…経験が収束していく状態



I：可能性として存在する径路

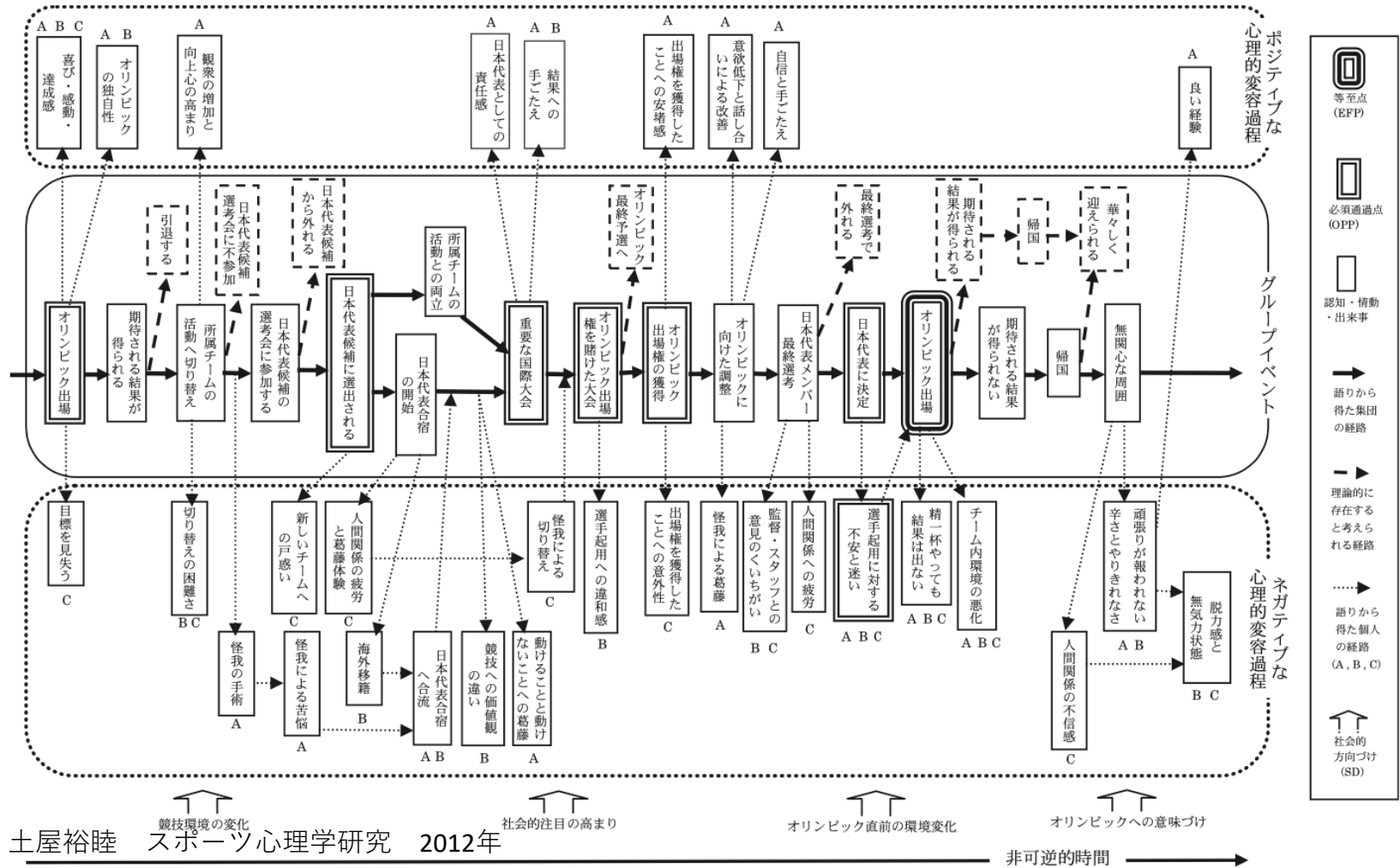


J：両極化した等至点  
…等至点の対になるような事象

# 複線径路・等至性モデル(Trajectory Equifinality Model)の活用

論文名 オリンピアンが語る体験と望まれる心理的サポートの検討

目的 オリンピック選手がオリンピックに出場するまでの心理変化を明らかにすることで、必要となるサポートを検討する



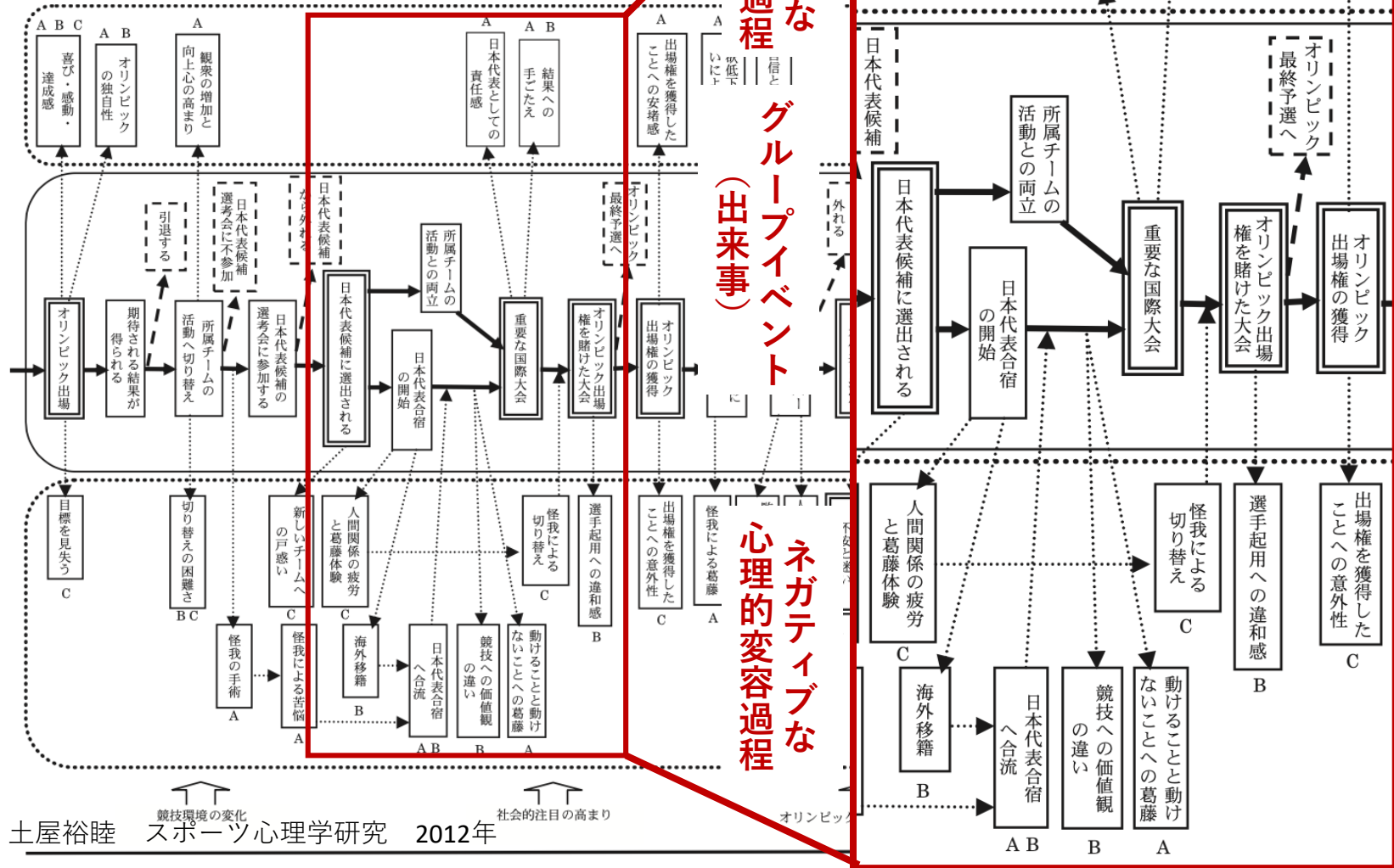
# 複線径路・等至性モデル(Trajectory Equifinality Model)の活用

論文名 オリンピアンが語る体験と望まれ  
 目的 オリンピック選手がオリンピック  
 ことで、必要となるサポートを

ポジティブな  
 心理的変容過程

グループイベント  
 (出来事)

ネガティブな  
 心理的変容過程



出す

# 等至点の設定と調査方法

複線径路・等至性モデルでは等至点を設定し等至点に適合する人をサンプリングする

## 等至点の設定

市民活動の運営チームとして  
活動し続ける

## 調査対象者

等至点に適合する10人の  
市民活動の運営チームメンバー  
(現在主に活動している  
運営チームメンバーは10人程度)

## ヒアリング

実施時期：2020年10月～12月

方 法 ：インタビュー  
(約90～120分/人)

質問事項：個人が体験した出来事  
出来事に対する意識と評価



## 複線径路・等至性モデルを用いて図化

- ①個人の意識変化のプロセスと外的要因を把握
- ②運営チーム全体の意識変化のプロセスと外的要因を把握  
→個人の意識変化のプロセスと外的要因をKJ法を用いて統合



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

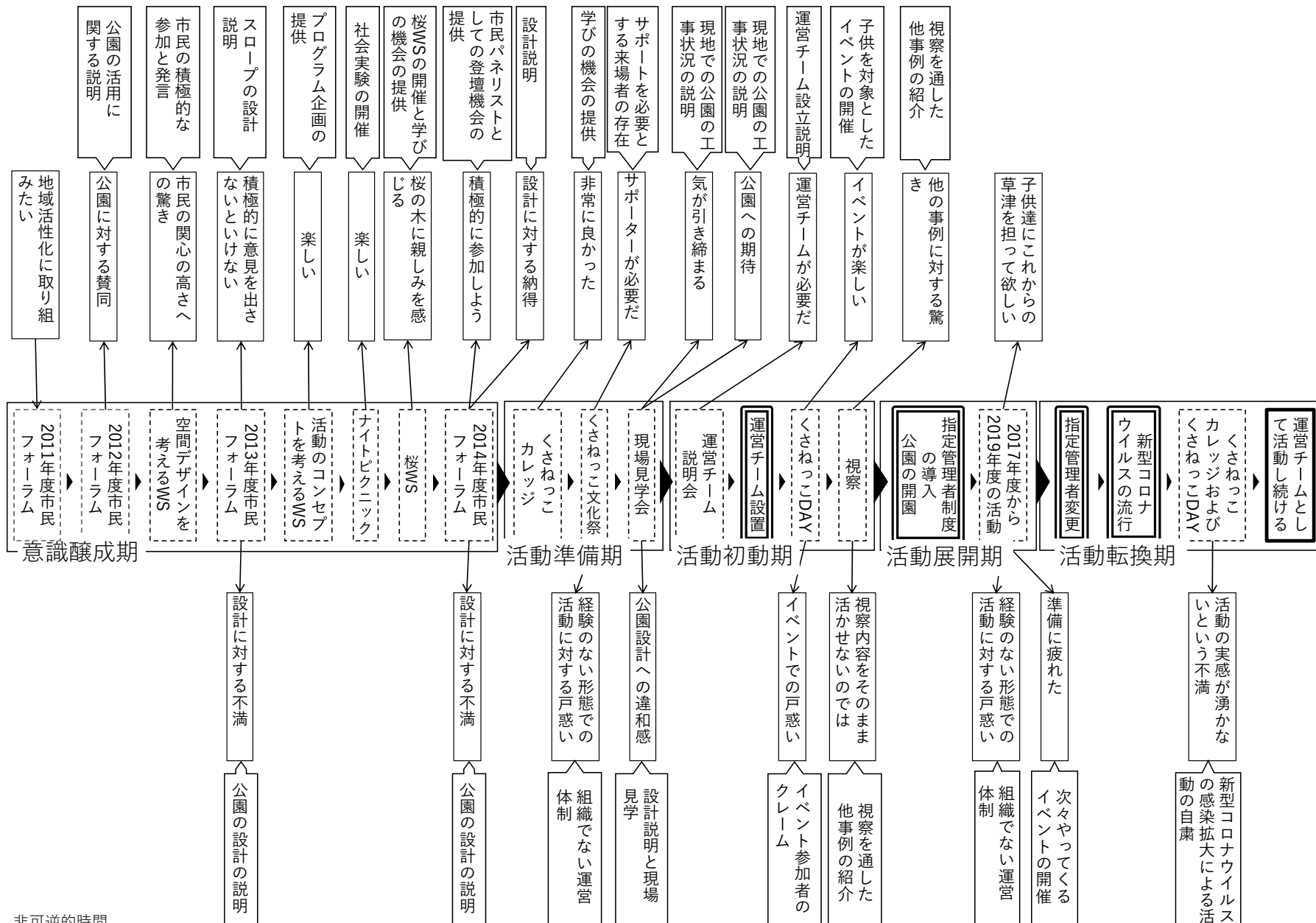
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

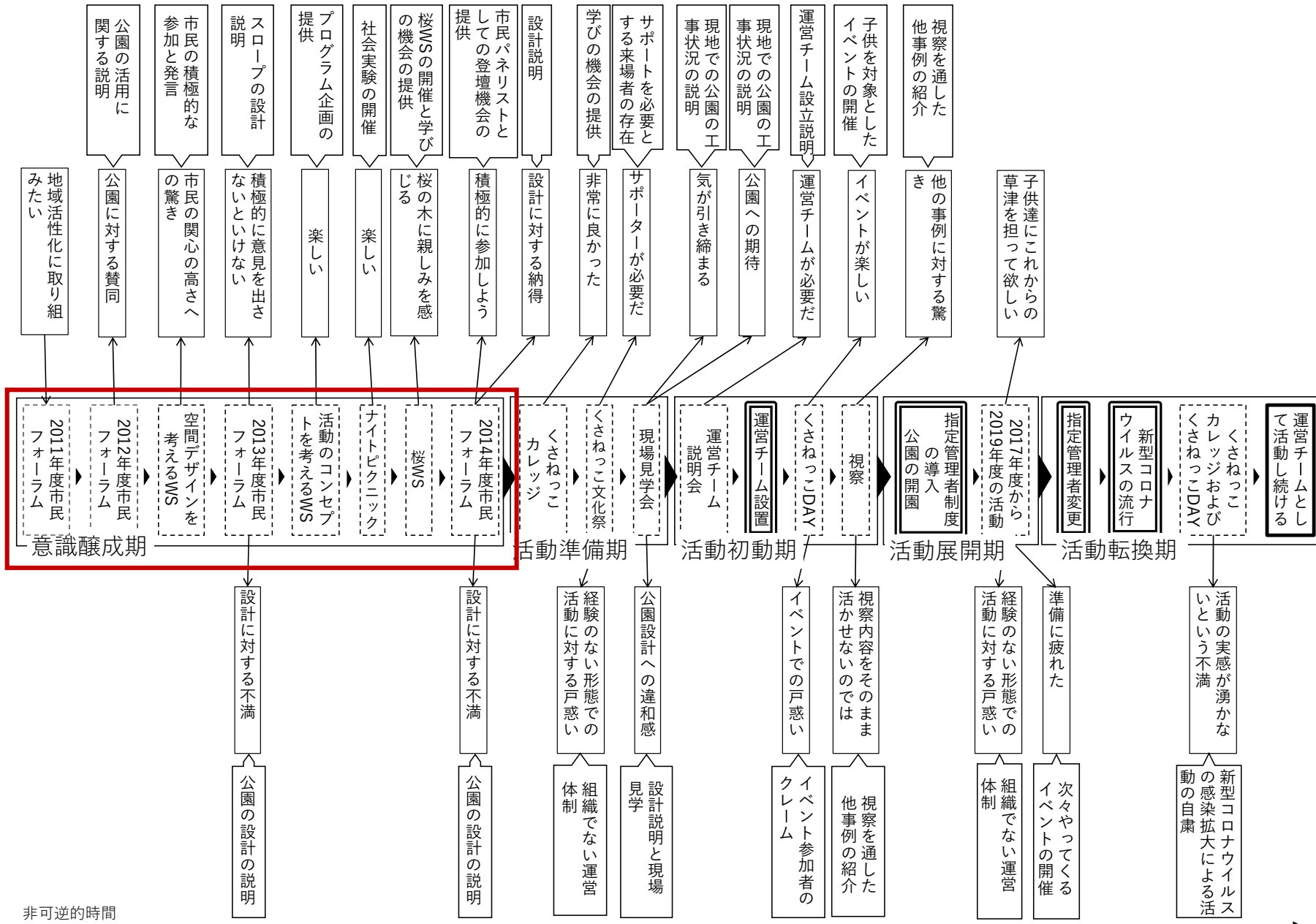
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

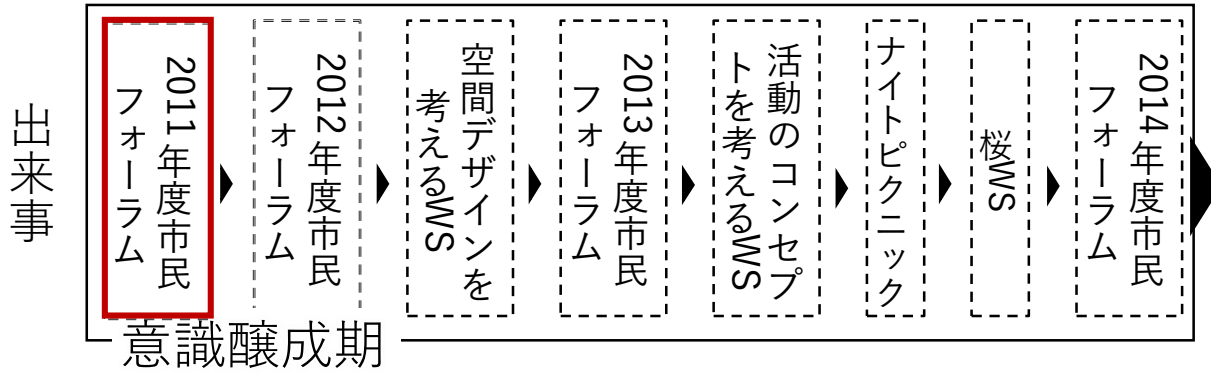
ネガティブな意識

社会的方向づけ

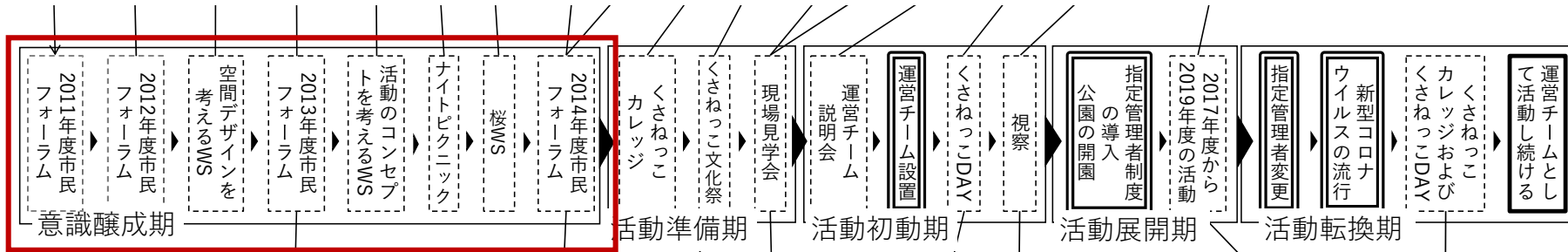


# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

社会的助勢 ポジティブな意識

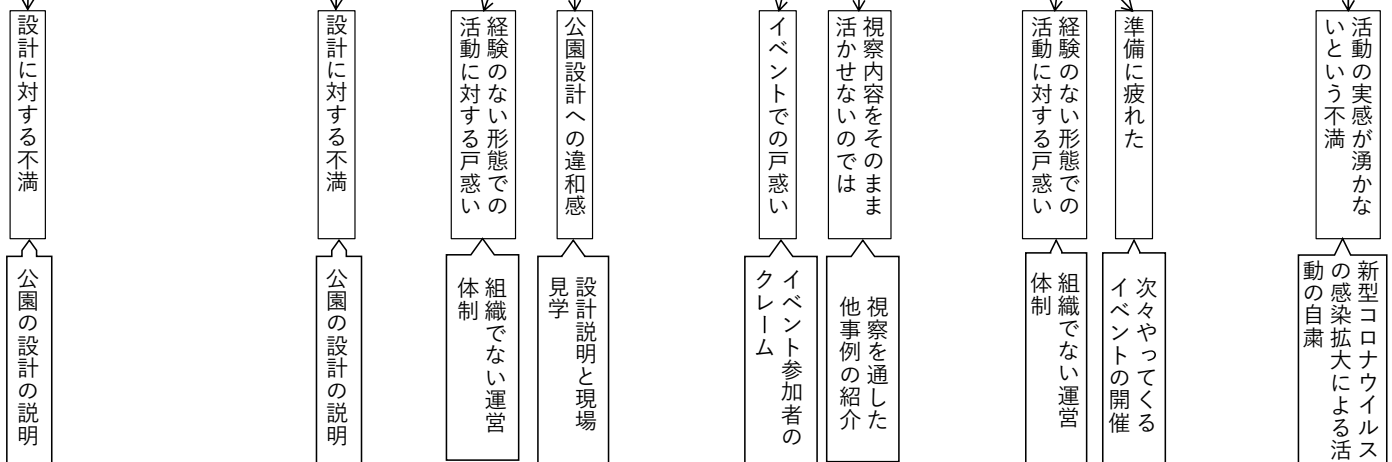


出来事



ネガティブな意識

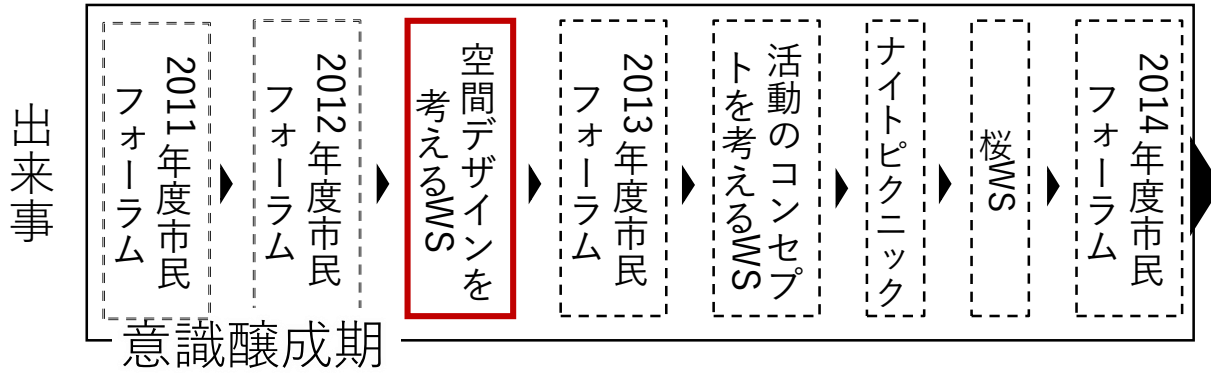
社会的方向づけ



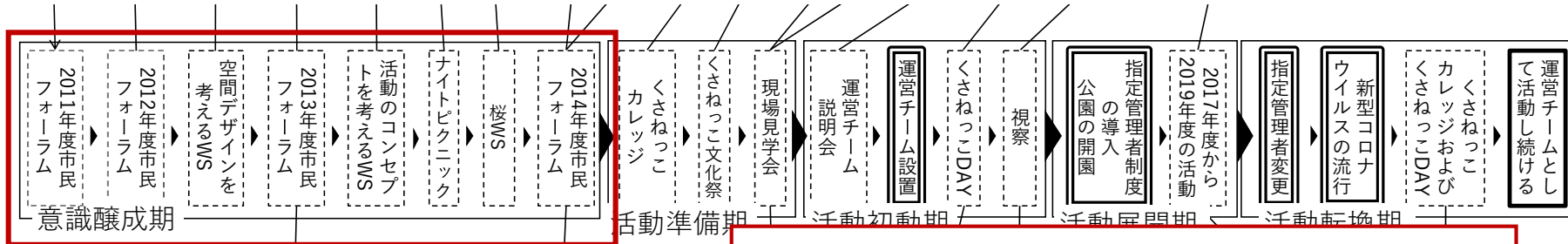
非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

社会的助勢 ポジティブな意識

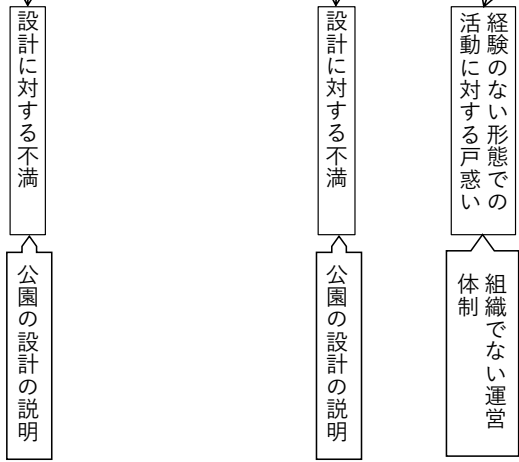


出来事



ネガティブな意識

社会的方向づけ

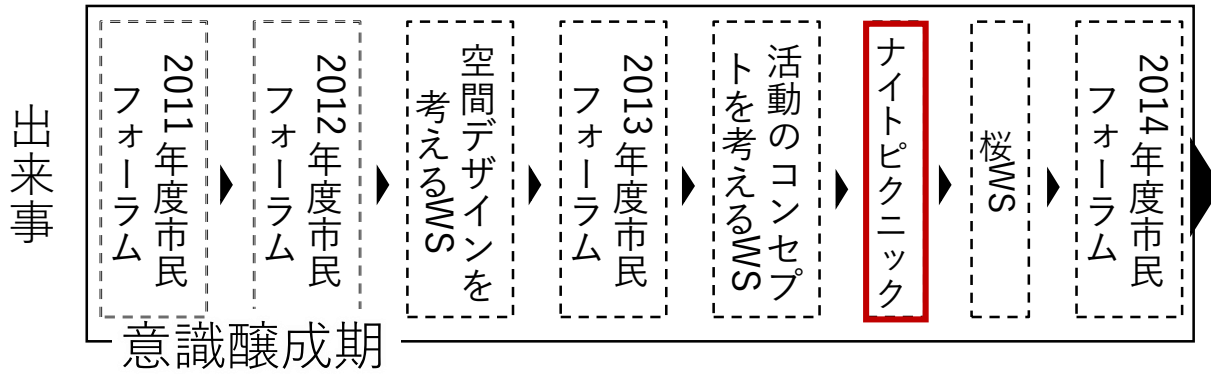


## 空間デザインを考えるワークショップ

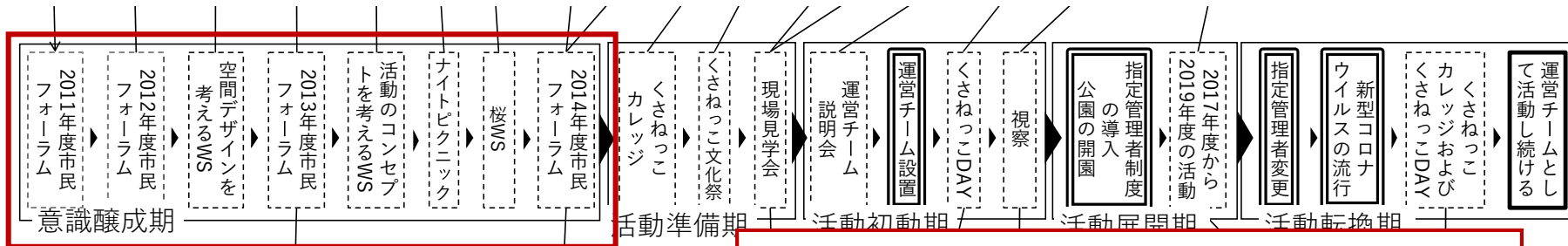


# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

社会的助勢 ポジティブな意識

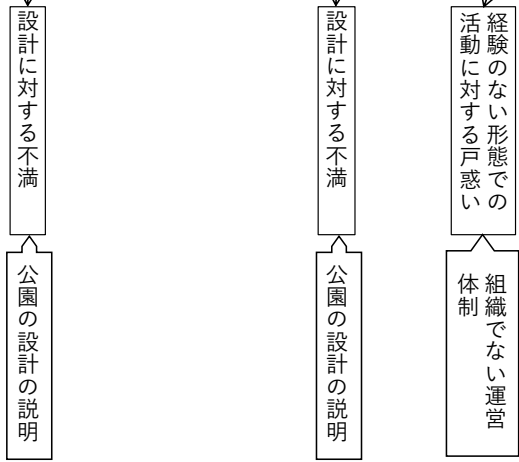


出来事



ネガティブな意識

社会的方向づけ



## ナイトピクニック



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

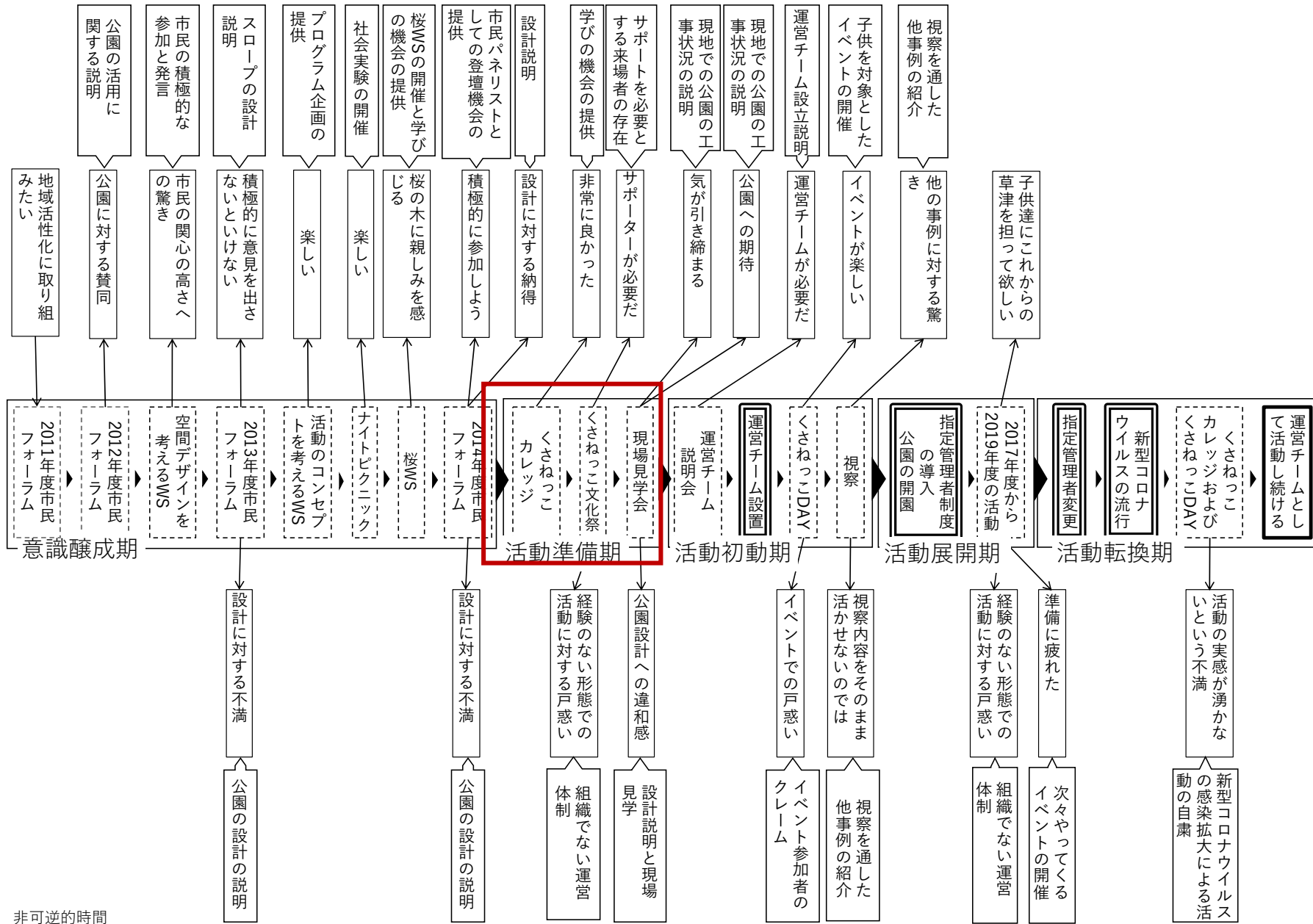
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

社会的助勢

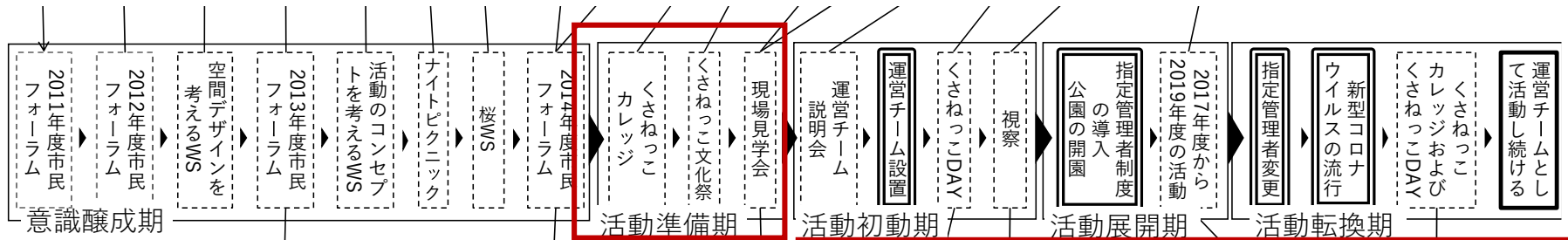
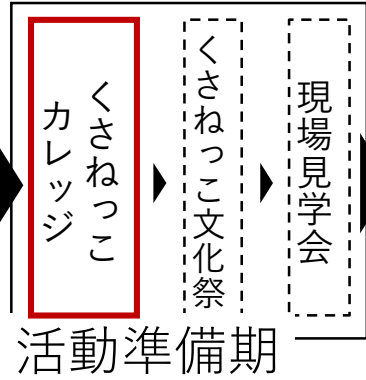
ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ

出来事



設計に対する不満

公園の設計の説明

設計に対する不満

公園の設計の説明

経験のない形態での活動に対する戸惑い

組織でない運営体制

公園設計への違和感

設計説明と現場見学

## くさねっこカレッジ



非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

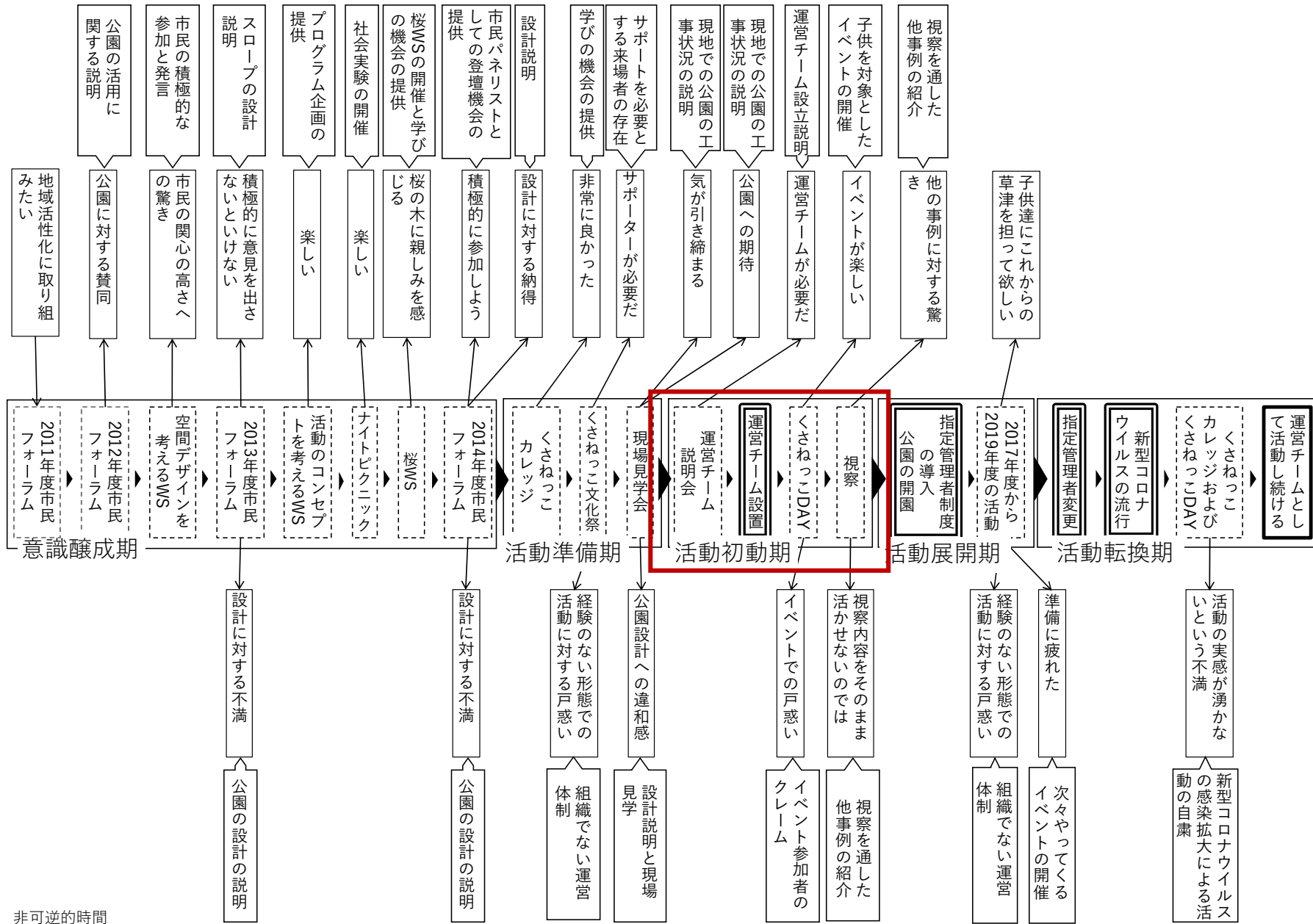
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



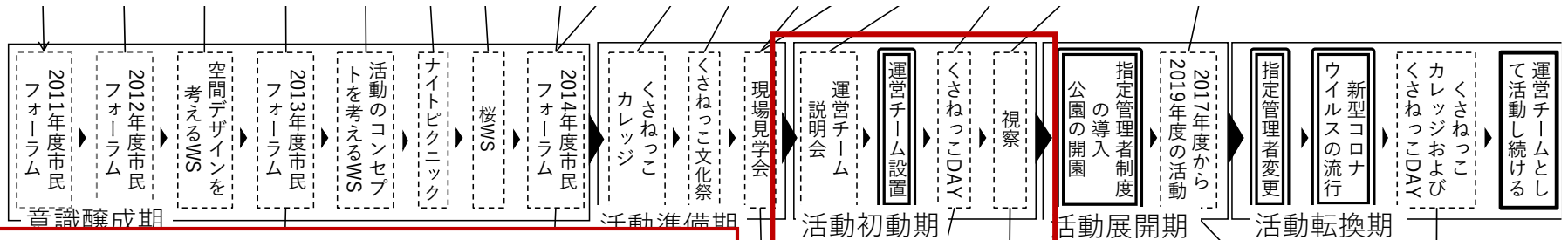
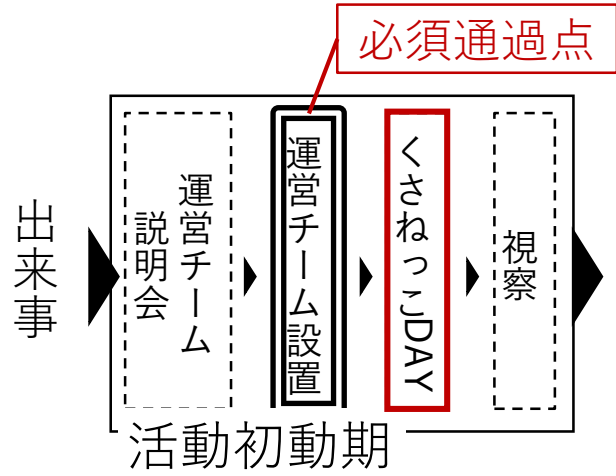


# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

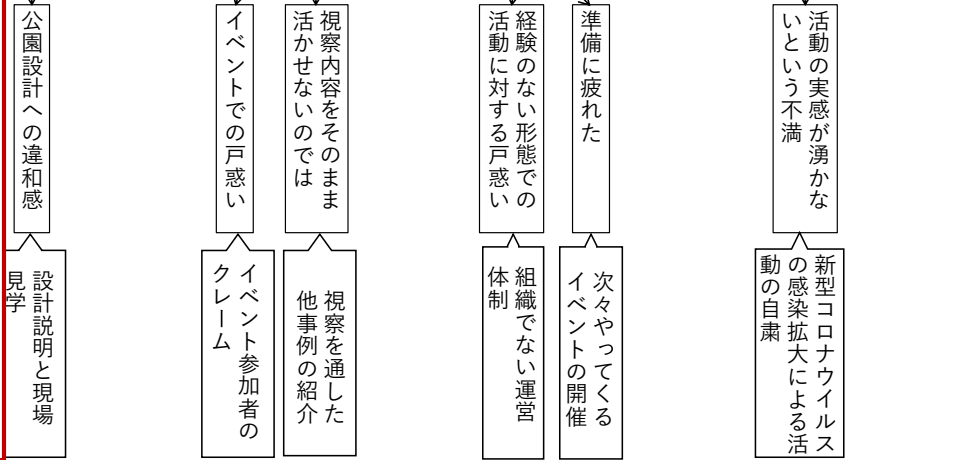
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事



## くさねっこDAY



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

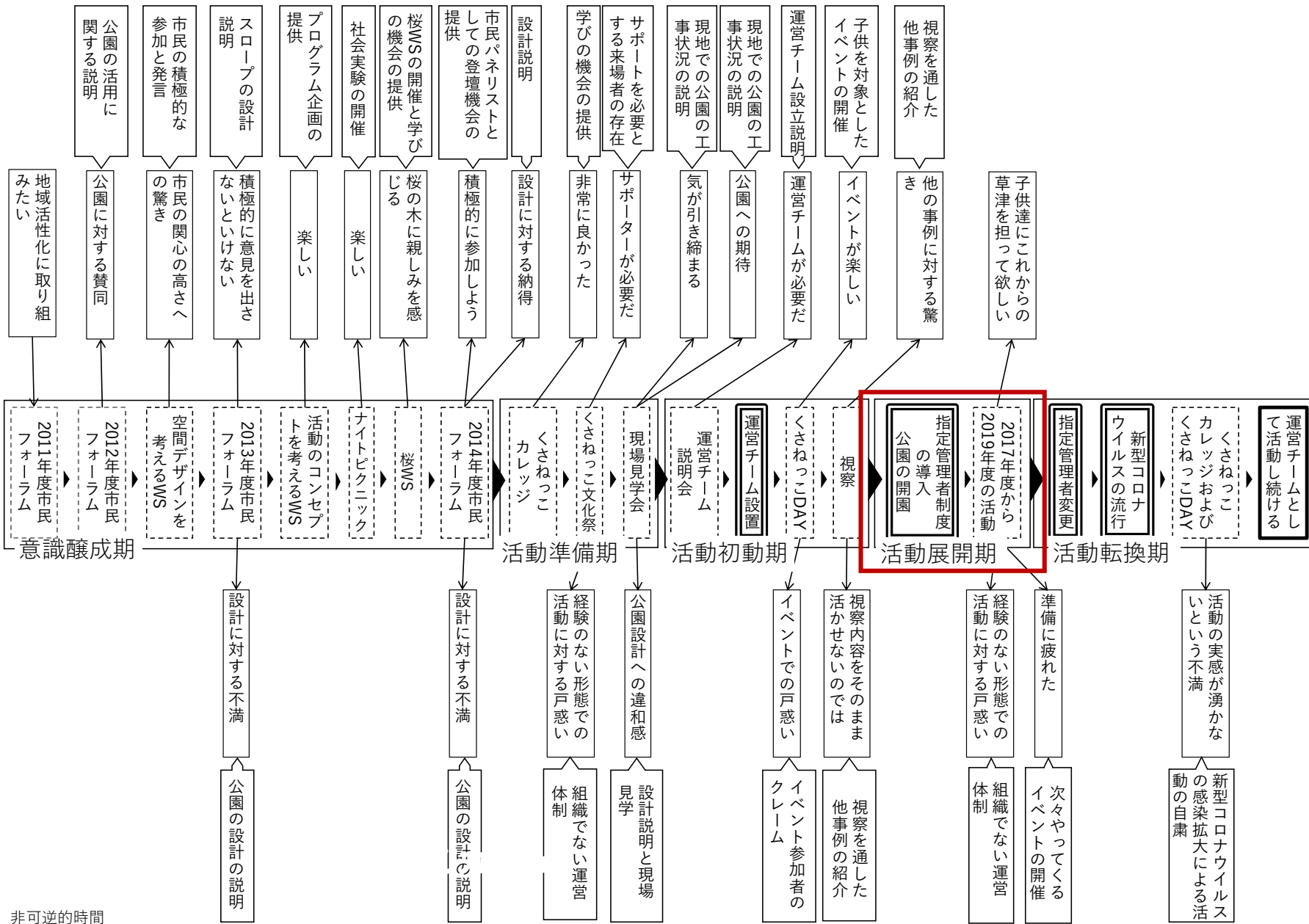
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

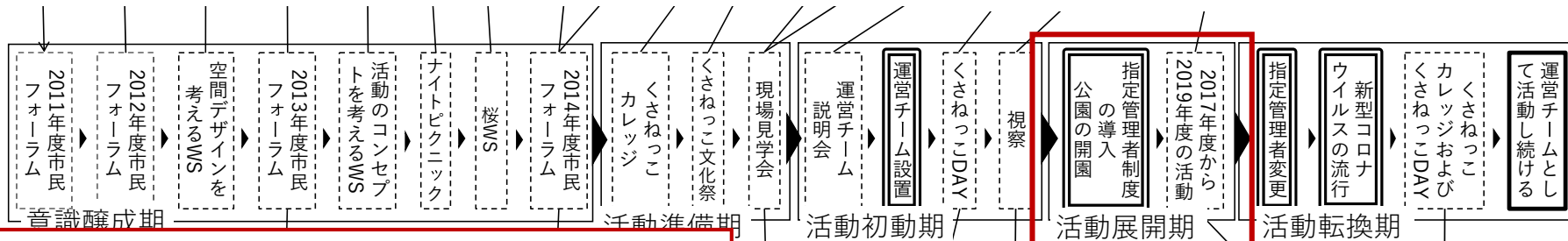
必須通過点

出来事

指定管理者制度  
の導入  
公園の開園

2017年度から  
2019年度の活動

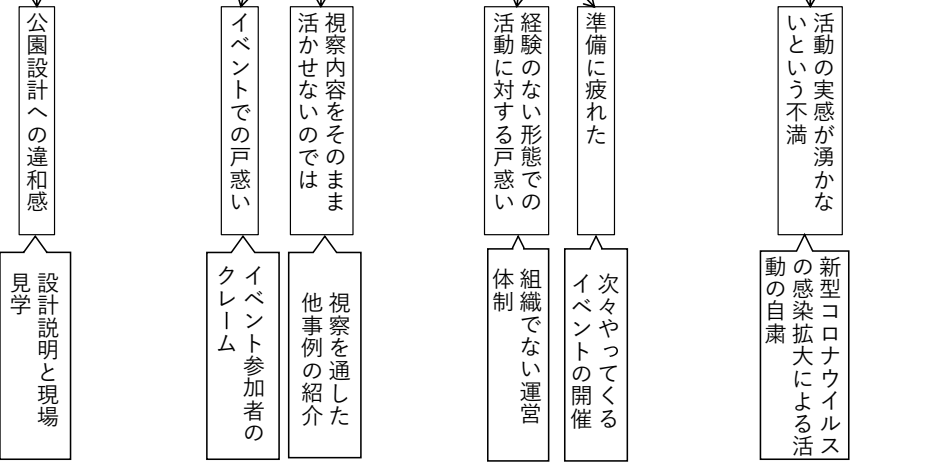
活動展開期



## 2017年度～2019年度の活動



くさねっこカフェ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

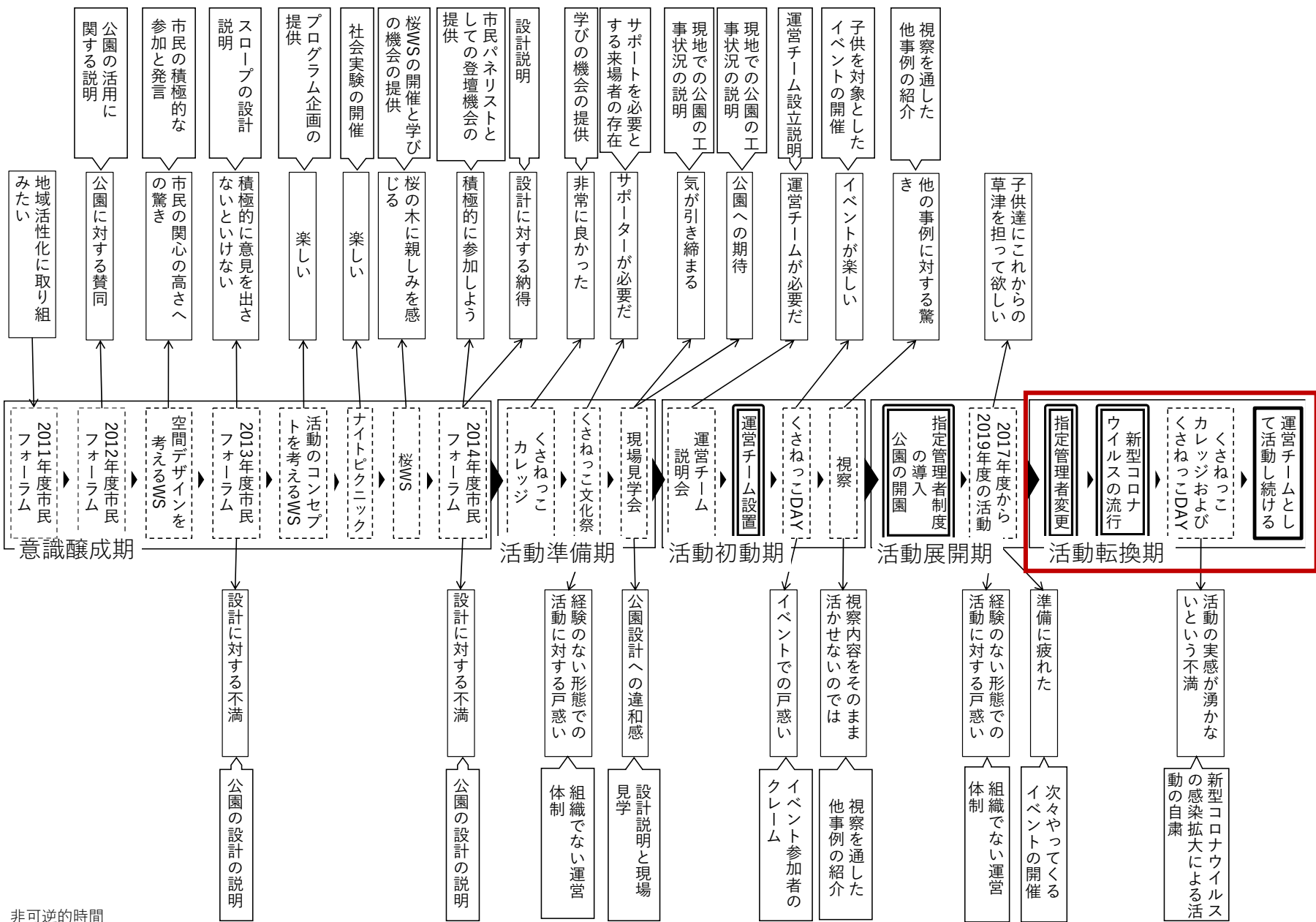
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ

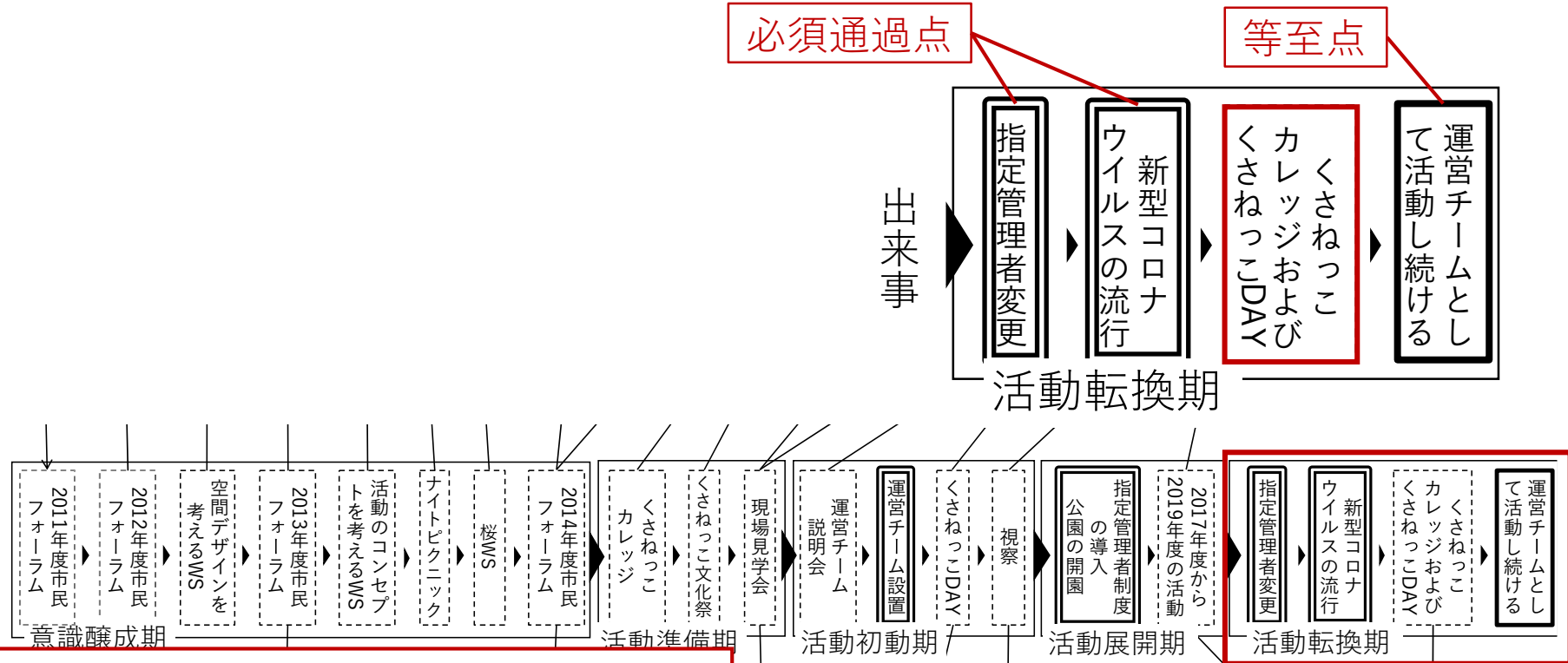


# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

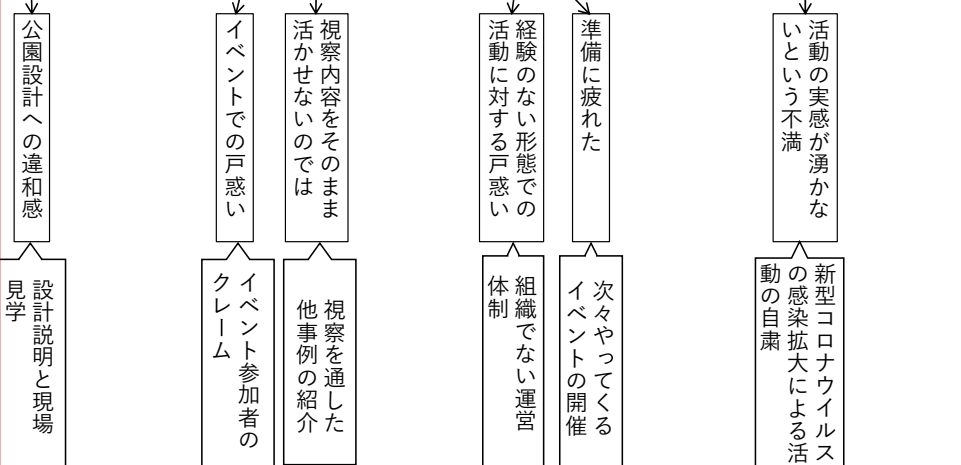
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事



くさねっこカレッジおよびくさねっこDAY



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

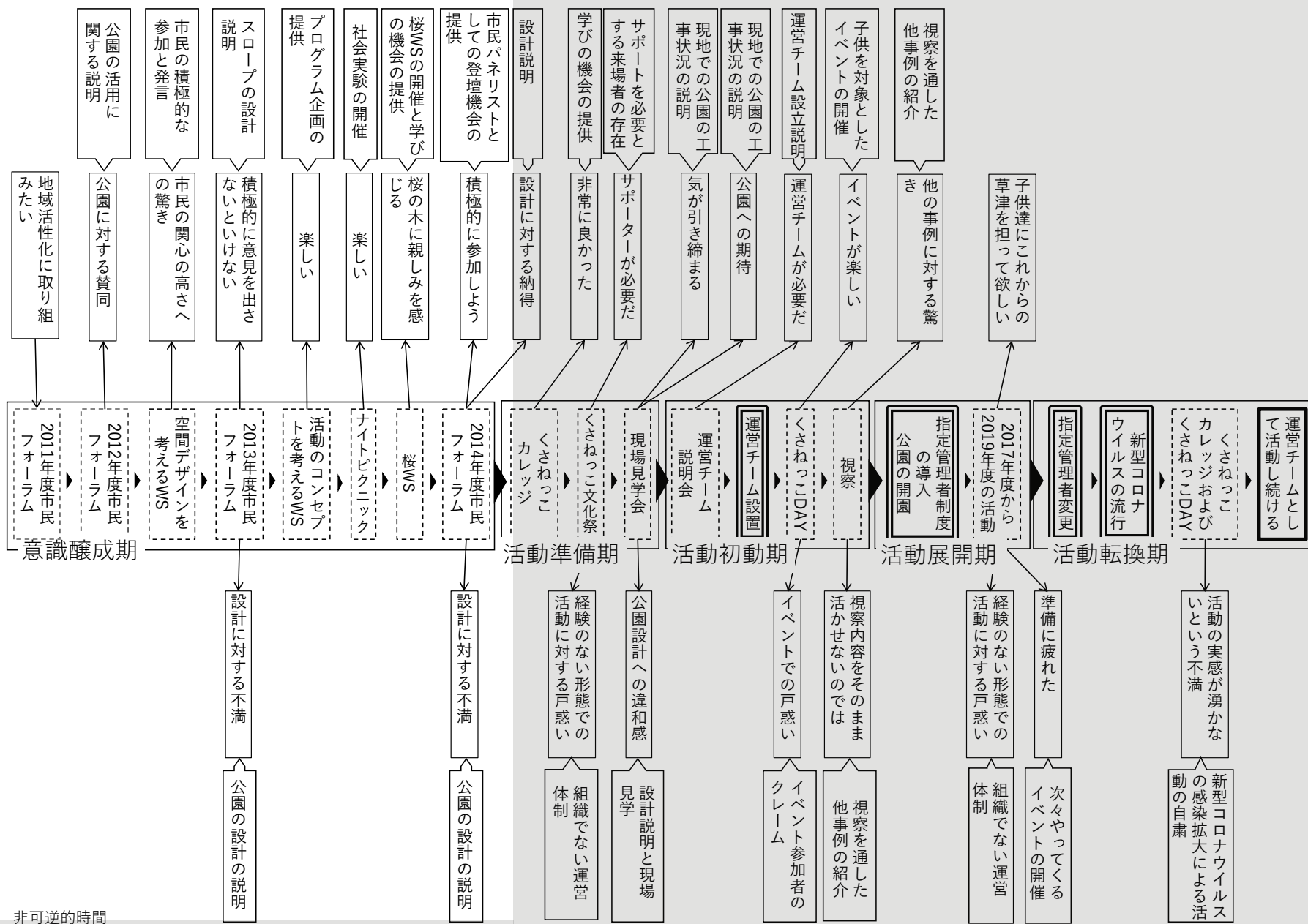
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

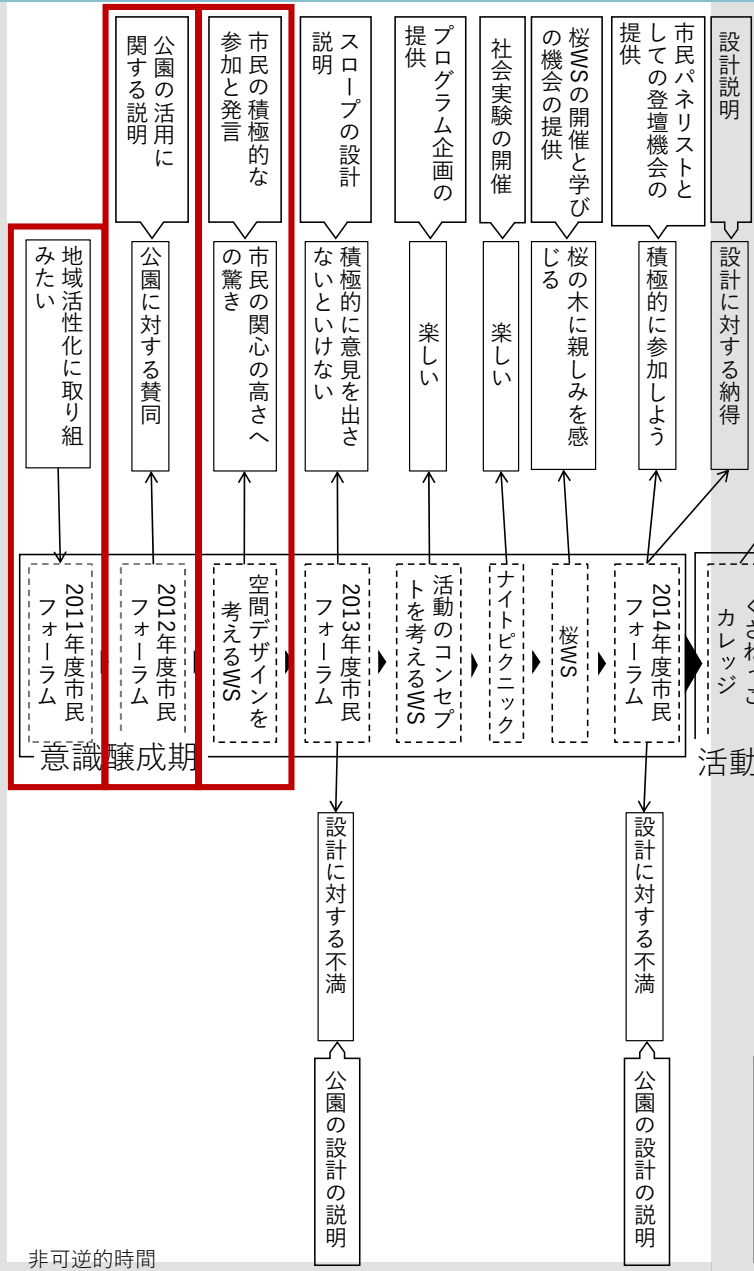
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ

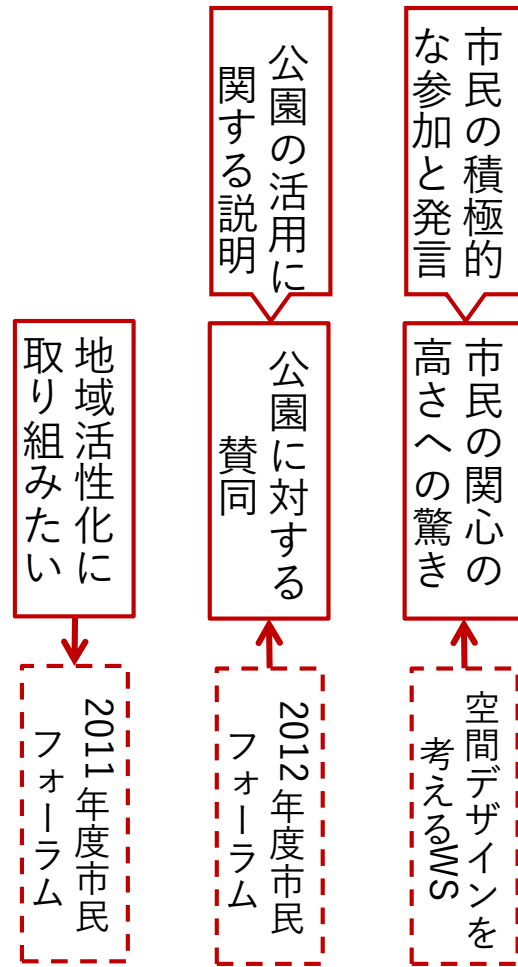


非可逆的時間

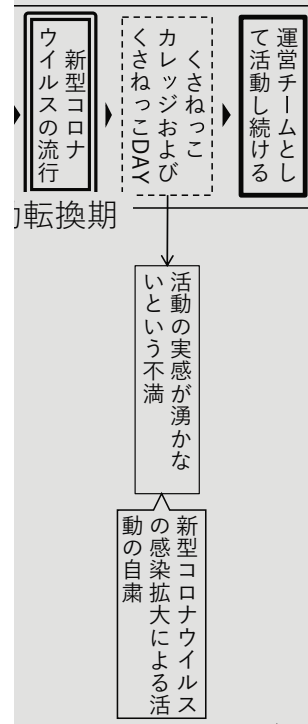
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事



意識醸成期



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

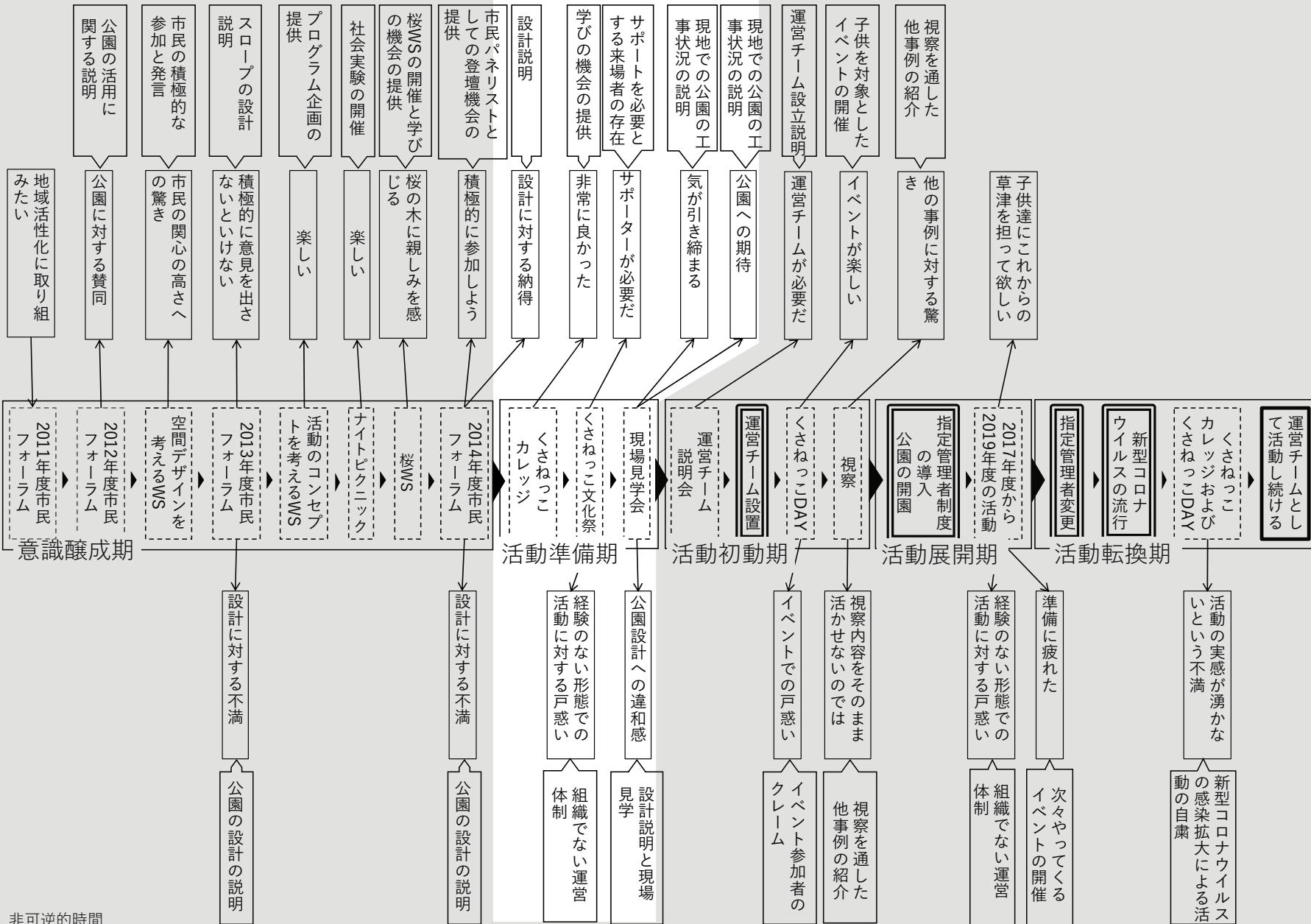
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ





# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

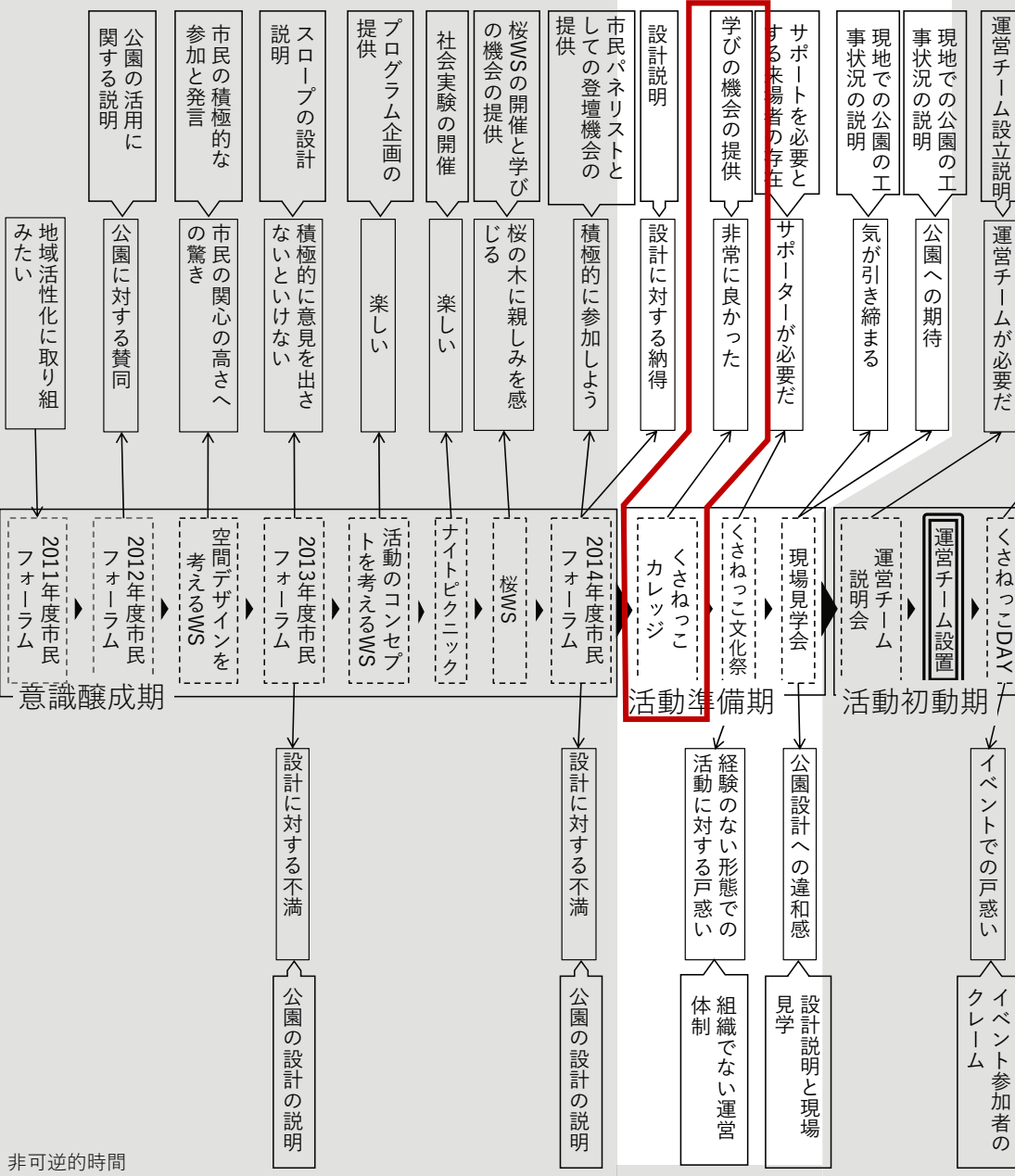
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



社会的助勢

ポジティブな意識

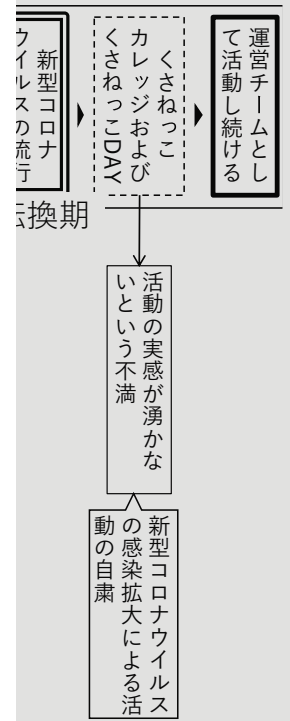
出来事

活動準備期

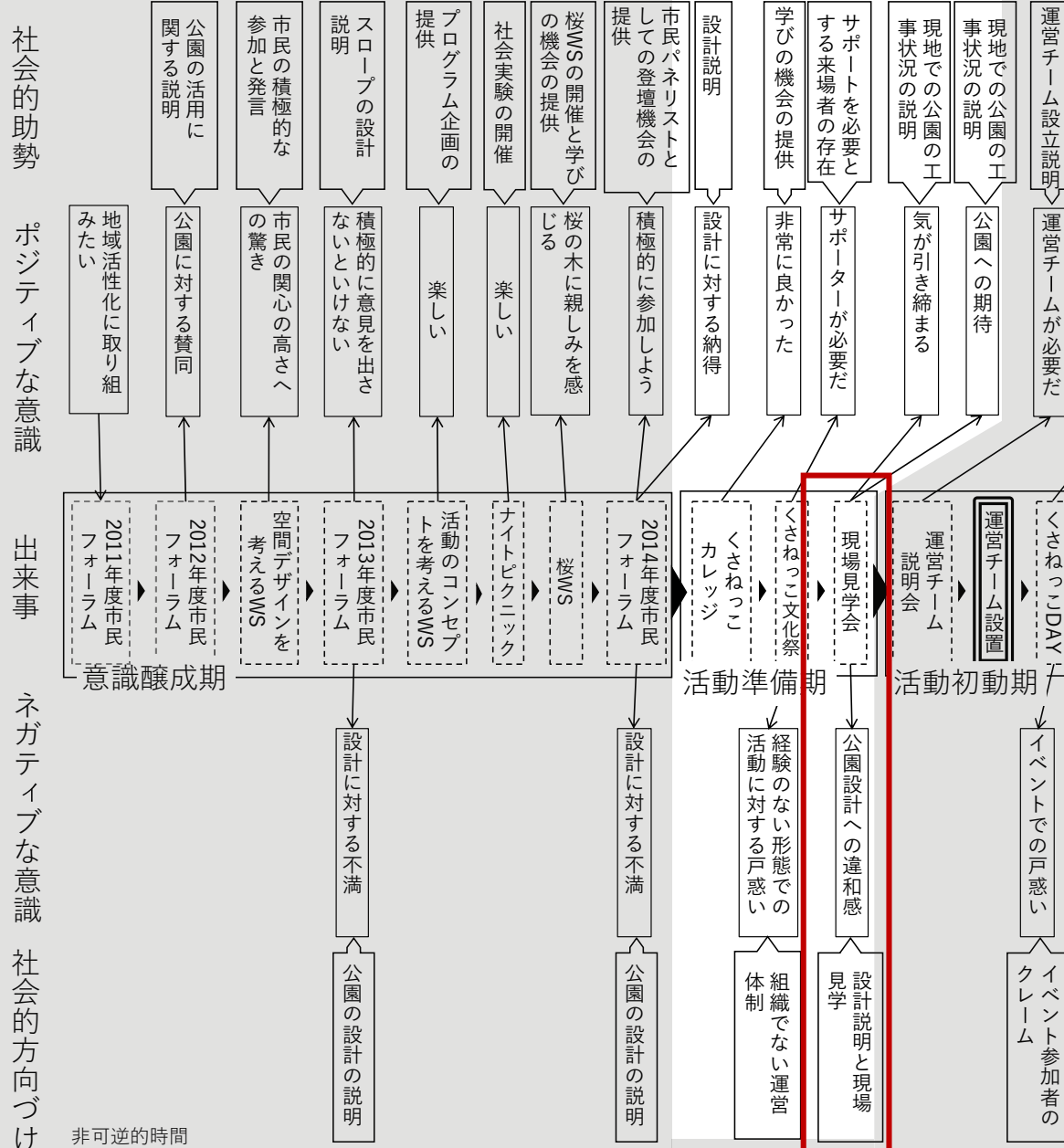
学びの機会の提供

非常に良かった

くさねっこ  
カレッジ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)



## 活動準備期

出来事

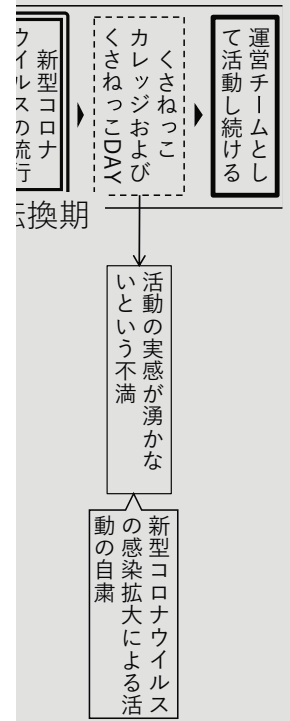
ネガティブな意識

社会的方向づけ

現場見学会

公園設計への違和感

設計説明と現場見学



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

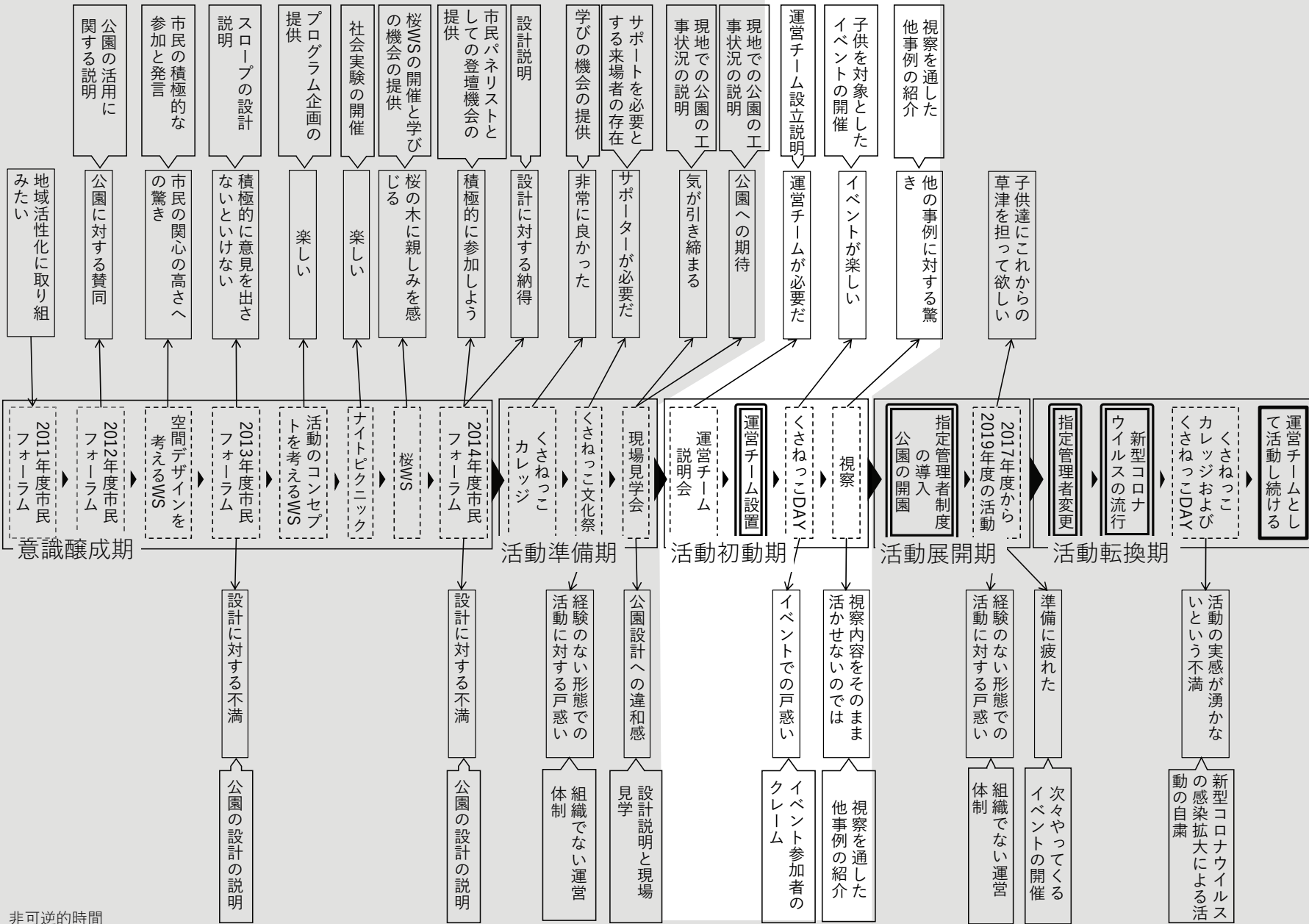
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

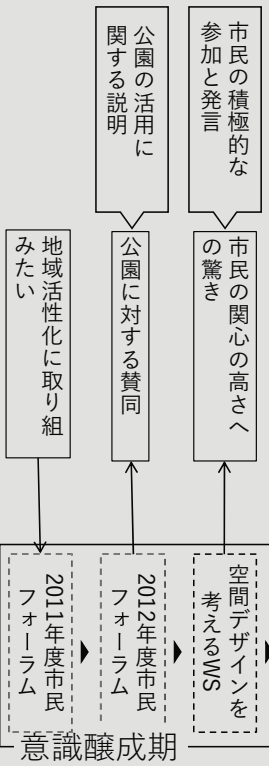
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



社会的助勢

ポジティブな意識

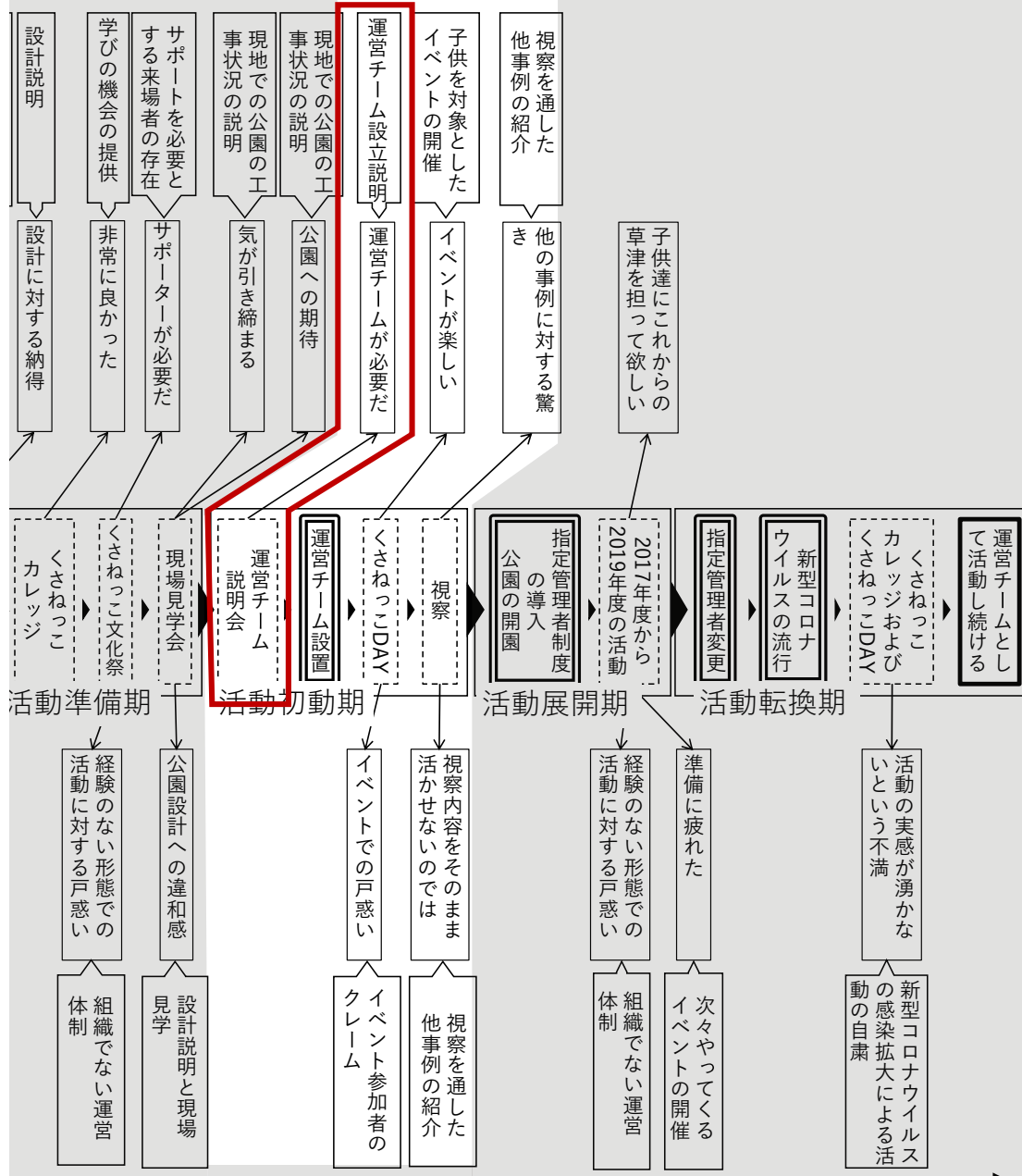
出来事

活動初動期

運営チーム  
設立説明

運営チームが  
必要だ

運営チーム  
説明会



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

## 活動初動期

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ

くさねっこ  
DAY

イベント  
での戸惑い

イベント参加者  
のクレーム

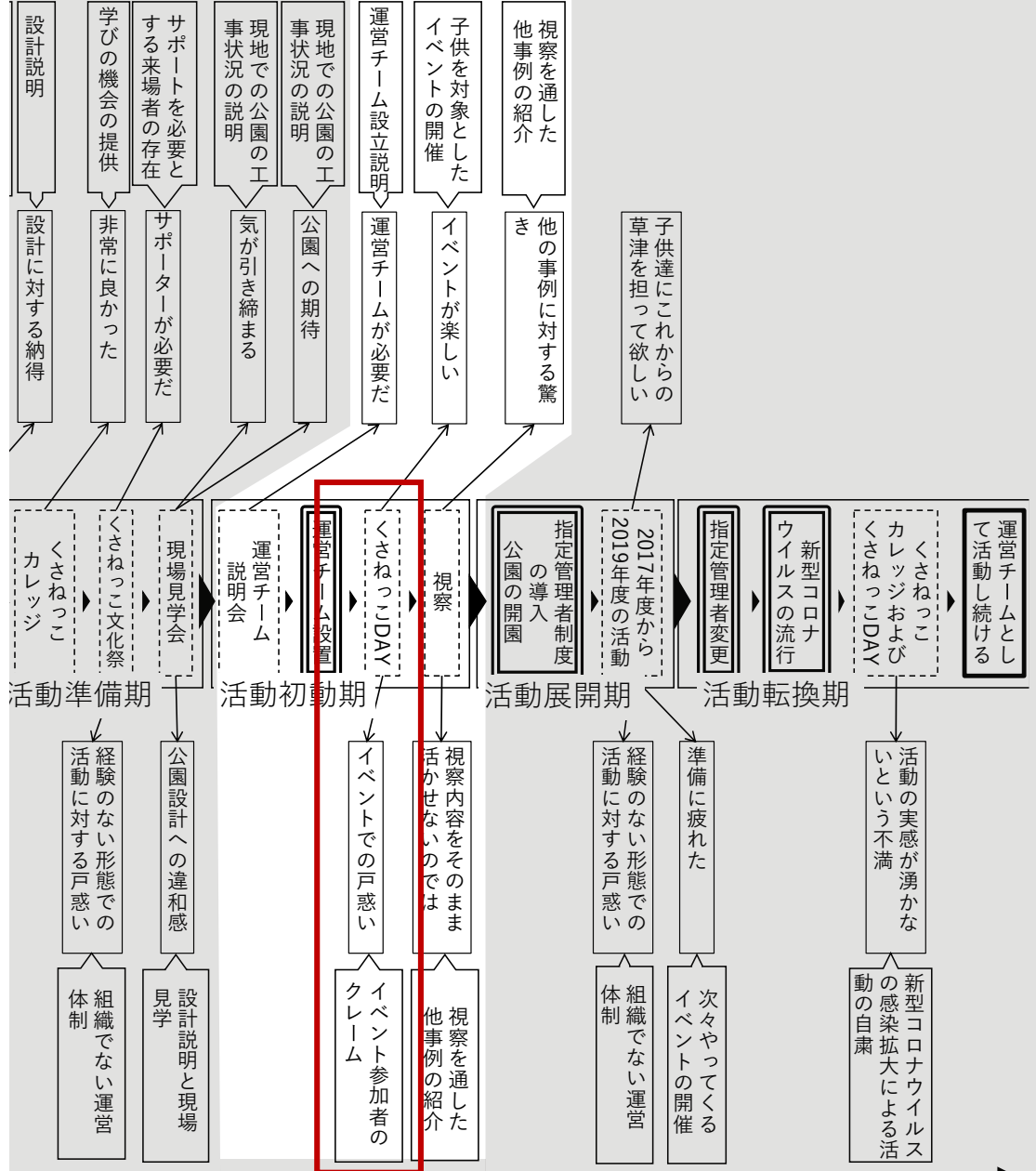
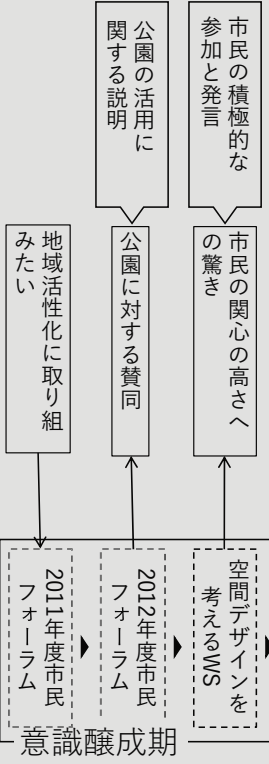
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

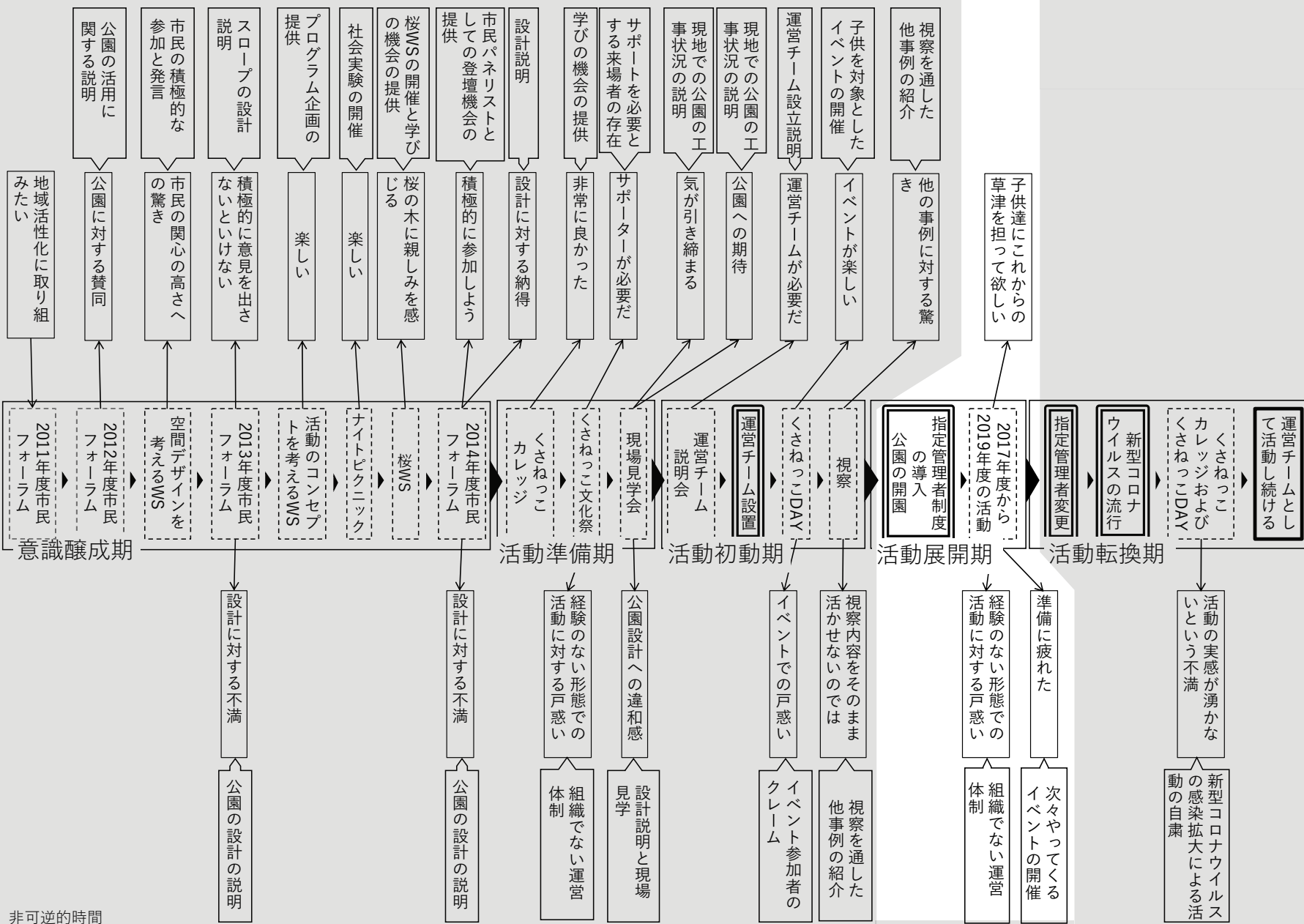
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

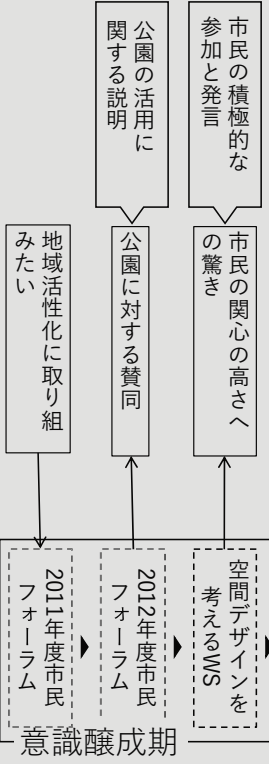
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



## 活動展開期

出来事

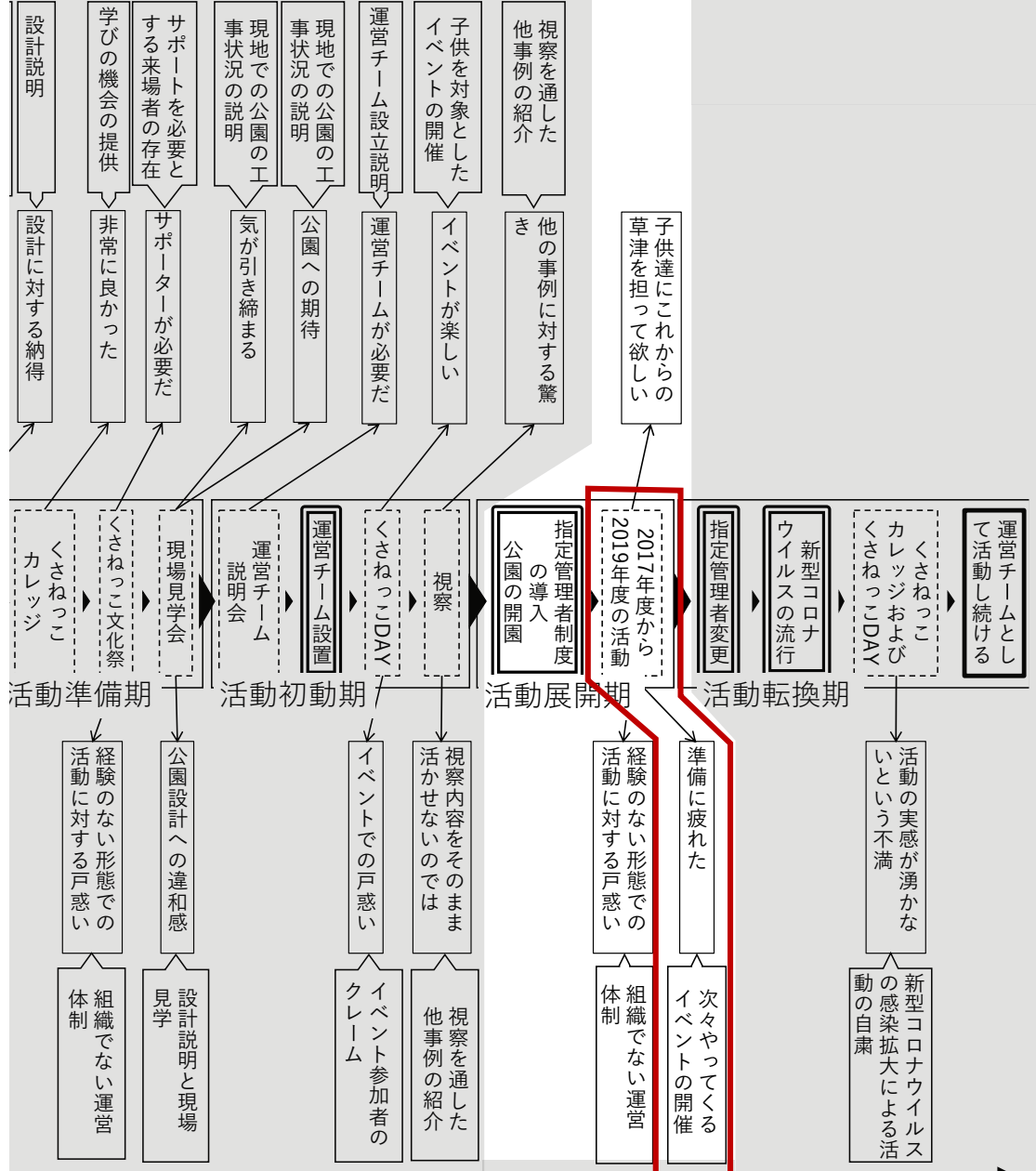
ネガティブな意識

社会的方向づけ

2017年度から  
2019年度の活動

準備に疲れた

次々やってくる  
イベントの開催



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

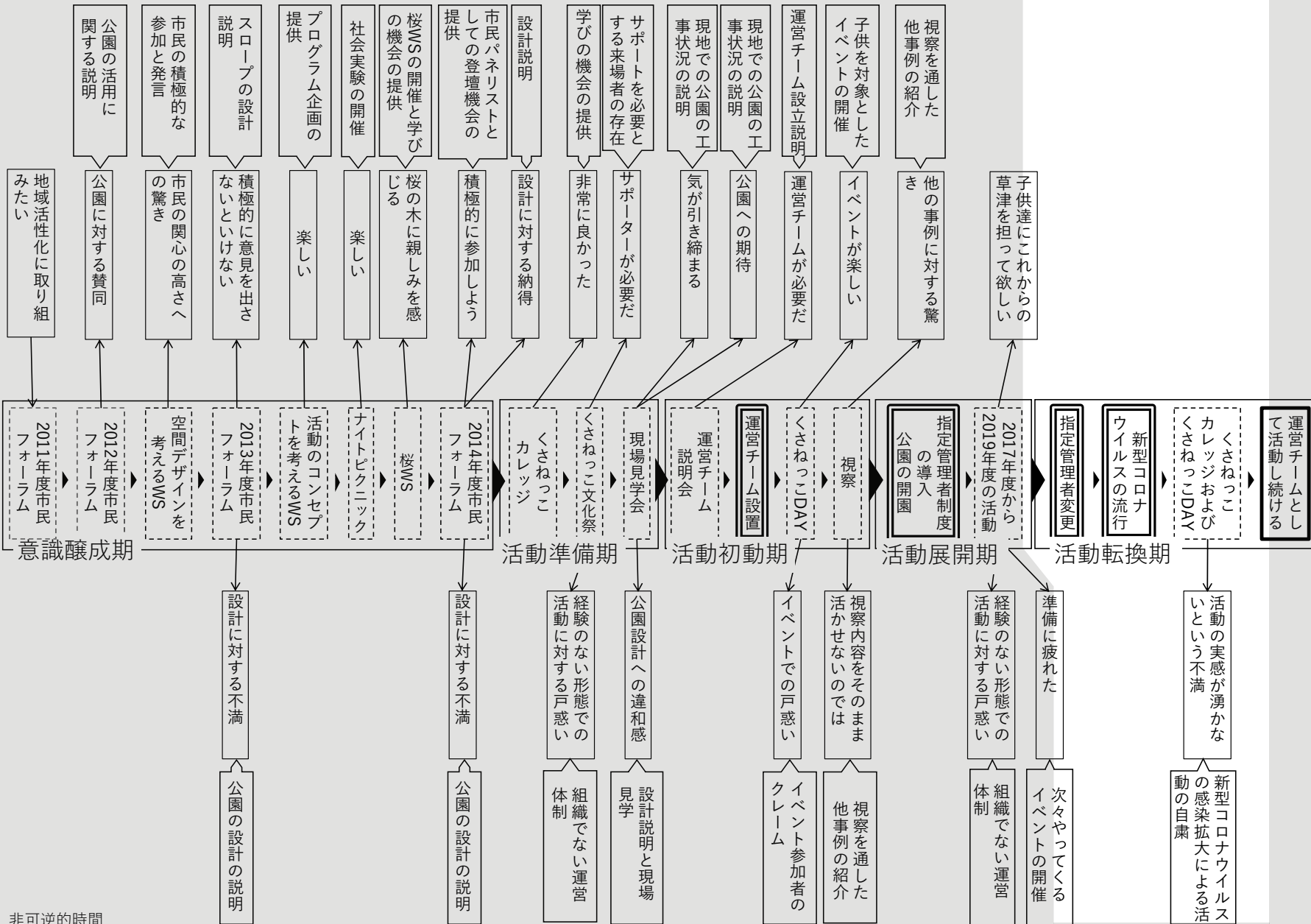
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ





# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

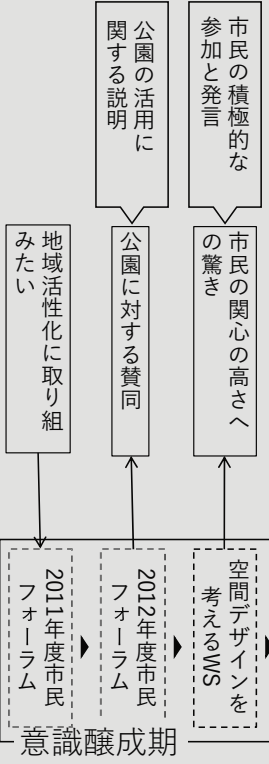
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



## 活動転換期

出来事

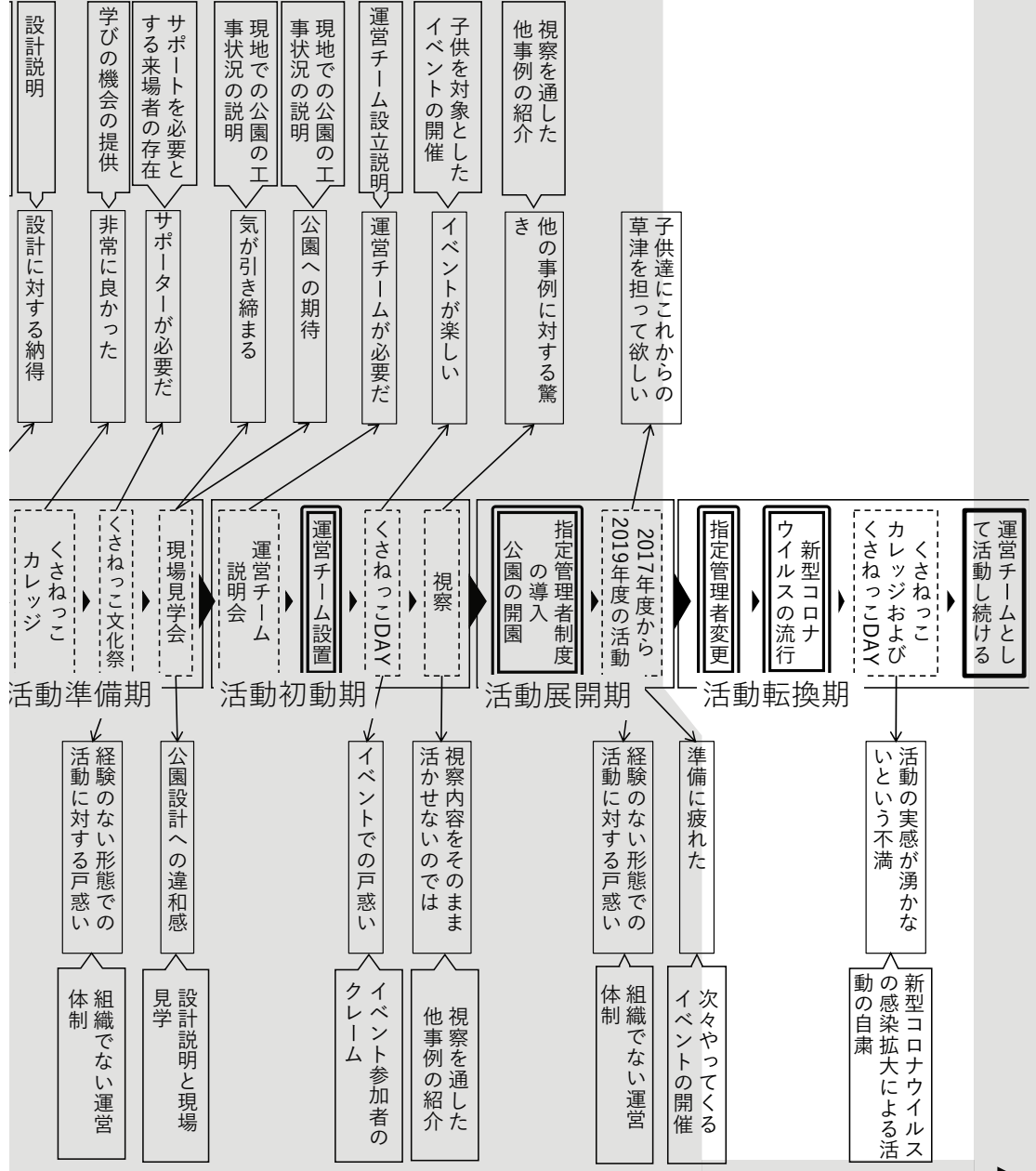
ネガティブな意識

社会的方向づけ

くさねっこ  
カレッジおよび  
くさねっこDAY

活動の実感が湧かないという不満

新型コロナウイルスの感染拡大による活動の自粛



# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

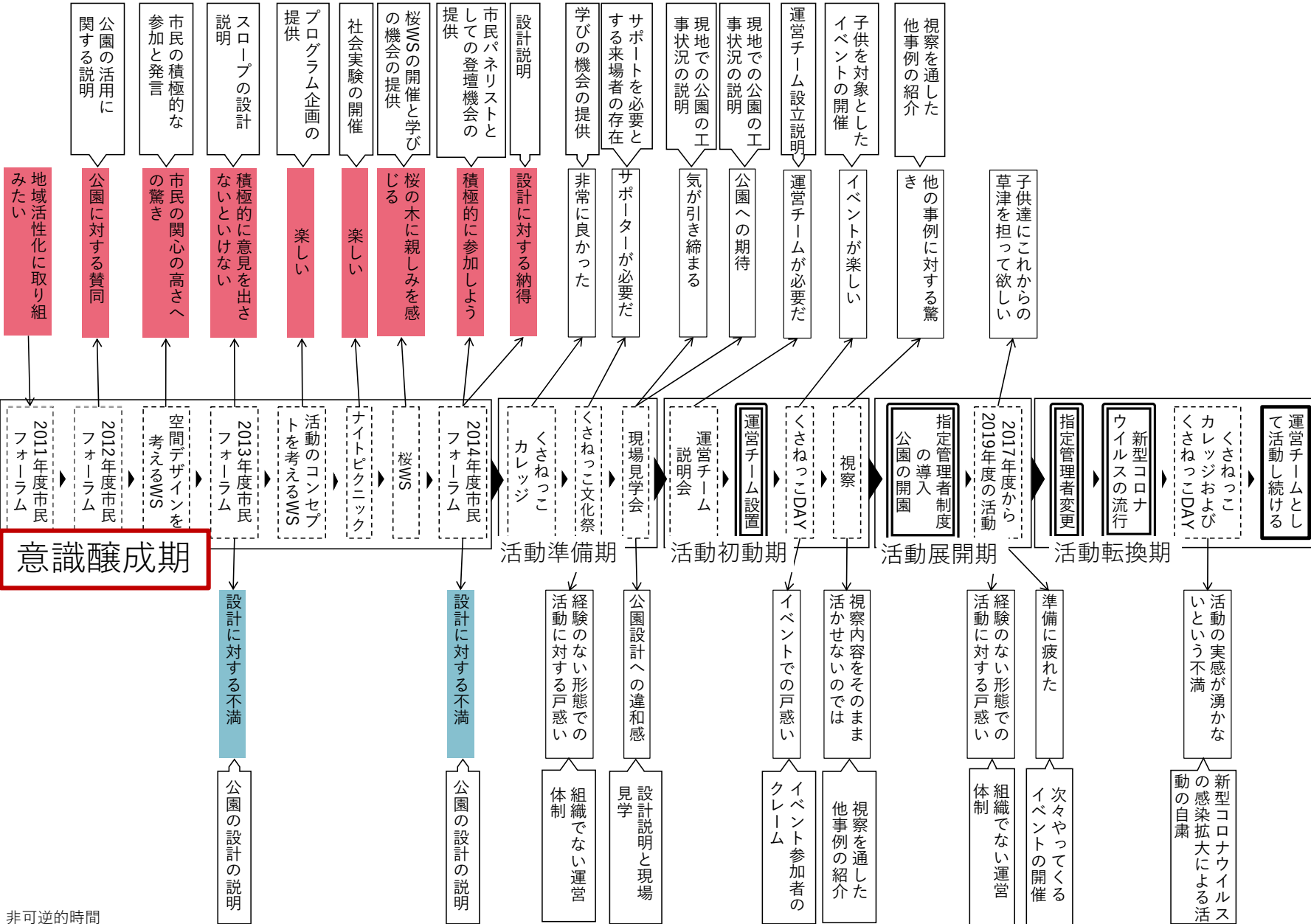
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

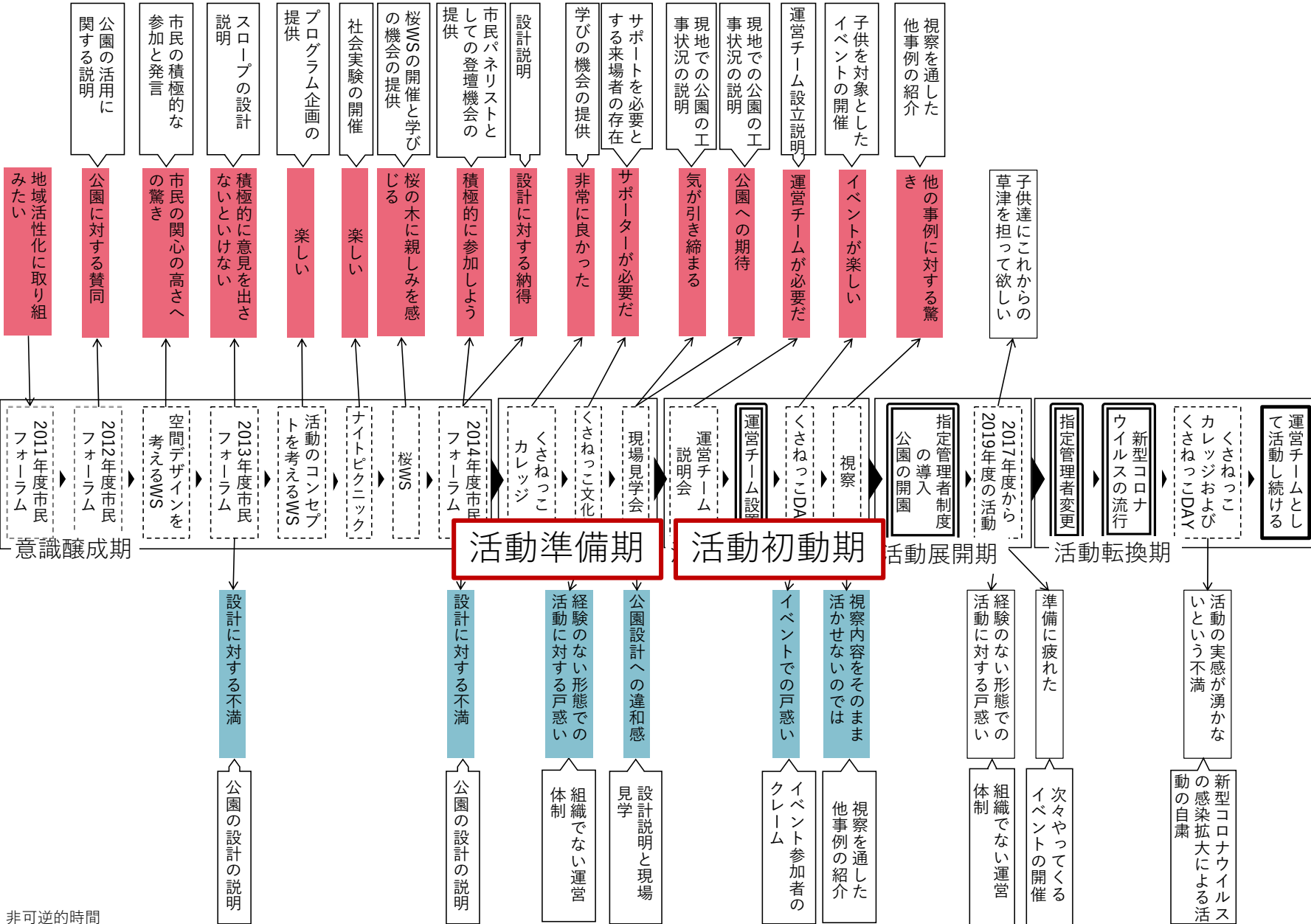
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



非可逆的時間

# 個人の意識変化プロセスと外的要因 (C氏)

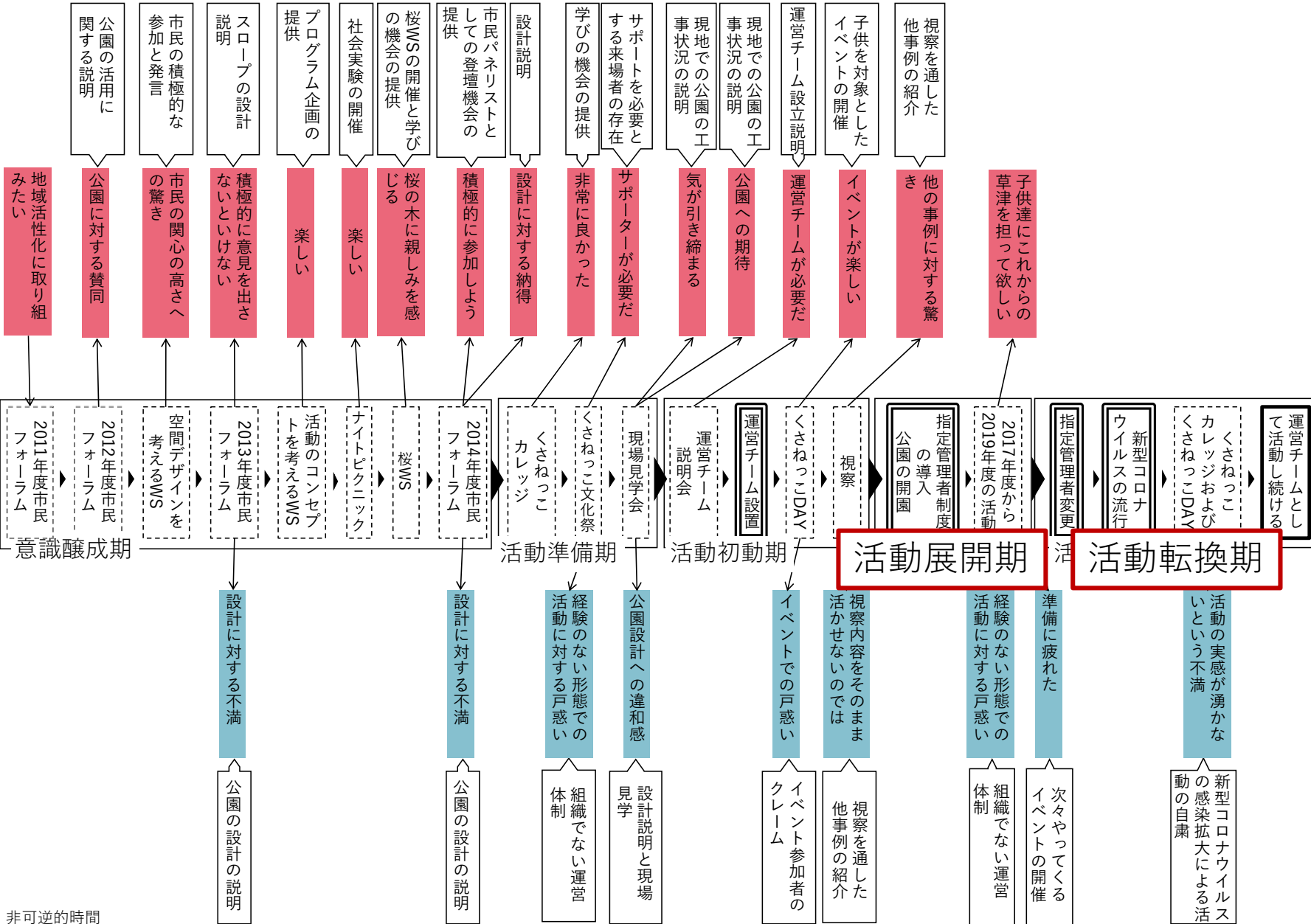
社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ



非可逆的時間

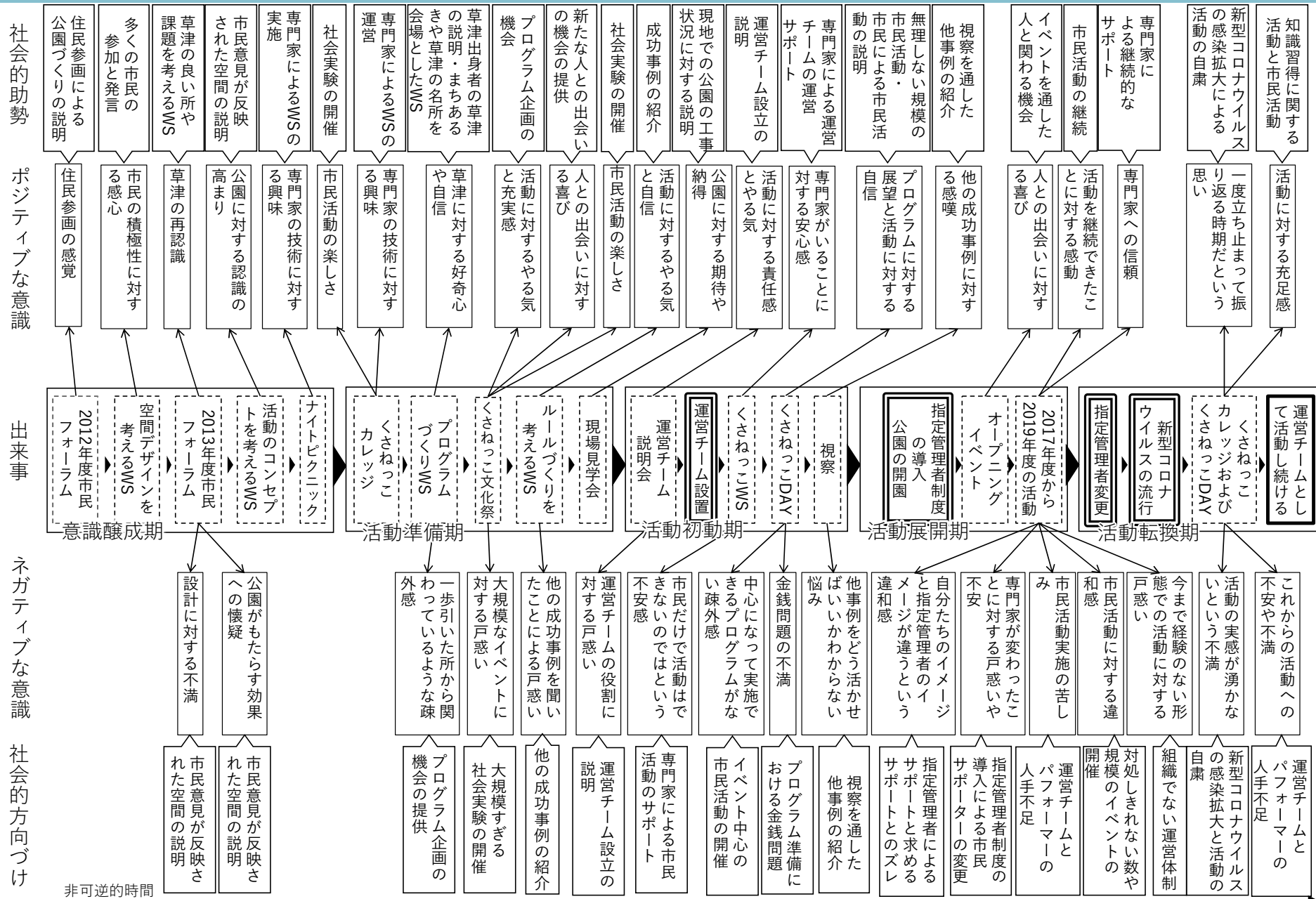
# 個人の意識変化プロセスと外的要因の把握

- ・ A, C, D, H, J氏は外的要因によって意識が大きく揺れ動いた
- ・ B氏はポジティブな意識が徐々にネガティブな意識に変化するが最終的にはポジティブな意識もみられた
- ・ E, F, G氏は社会的方向づけの影響を受けにくくポジティブな意識が一貫していた
- ・ I氏は社会的助勢、社会的方向づけの影響だけでなく、それによらない意識が常に見られた

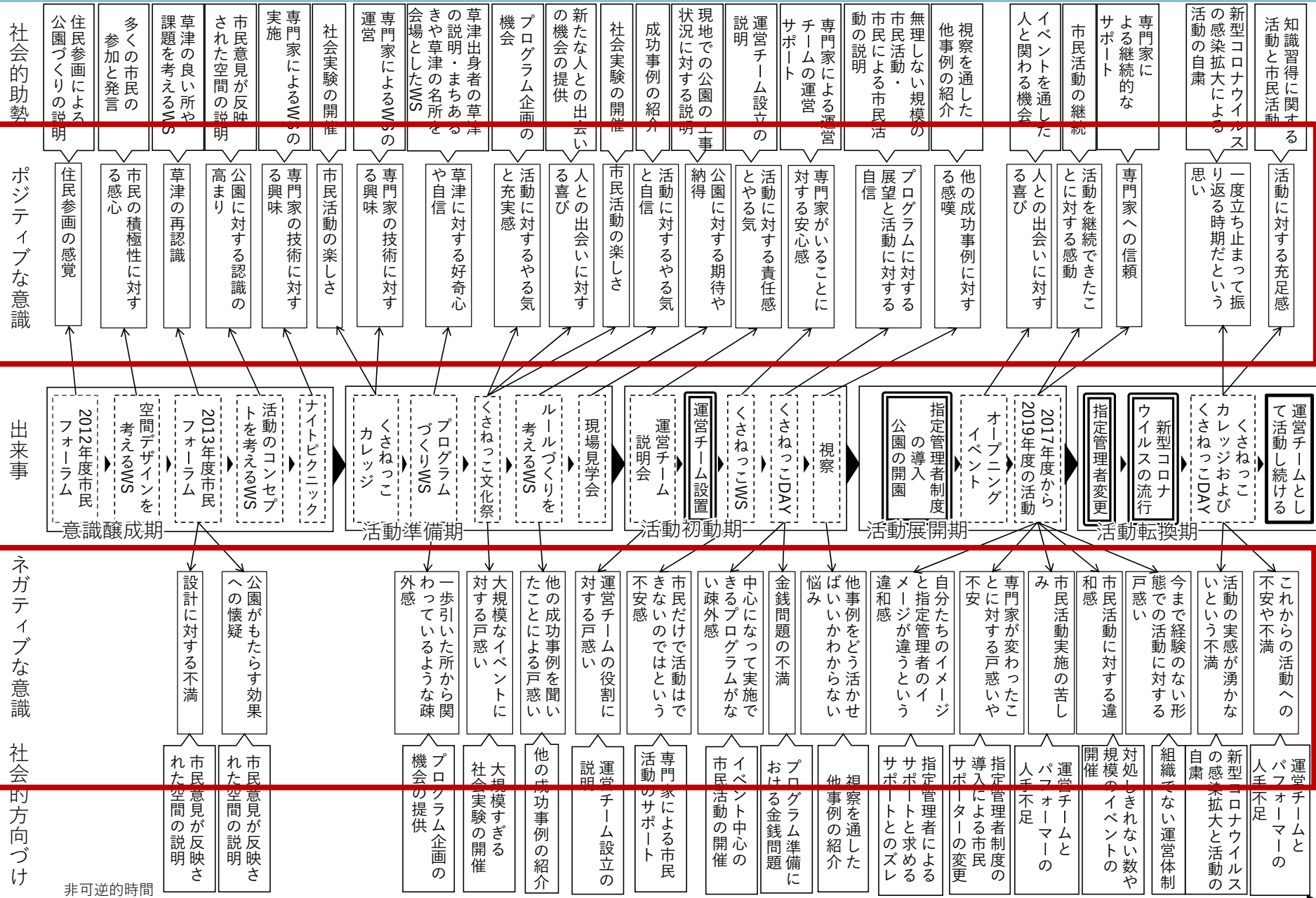


意識変化の特徴は異なるが、  
活動プロセスにおける社会的助勢や社会的方向づけによる  
経時的な影響が確認できた

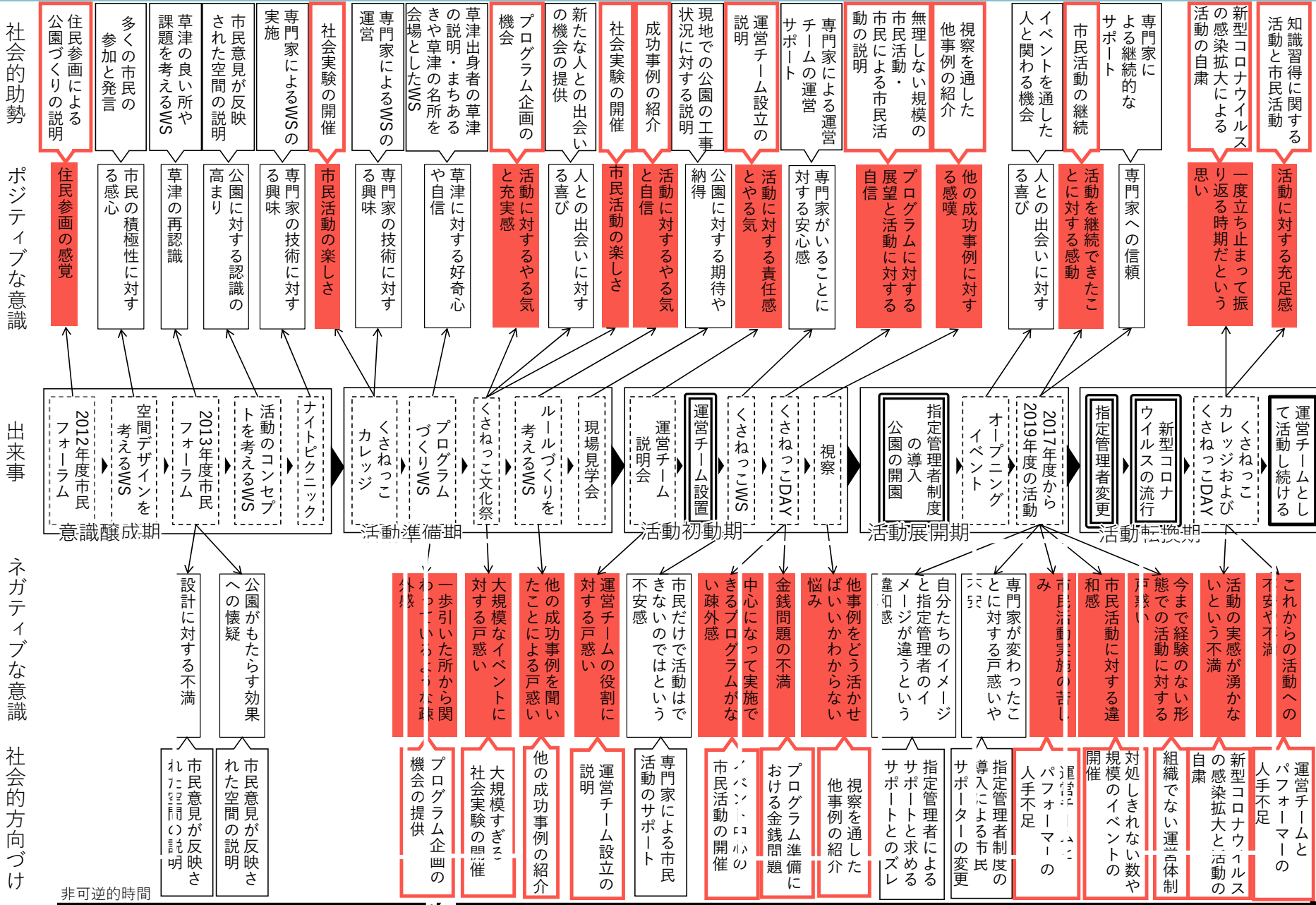
# 運営チーム全体の意識変化プロセスと外的要因



# 運営チーム全体の意識変化プロセスと外的要因

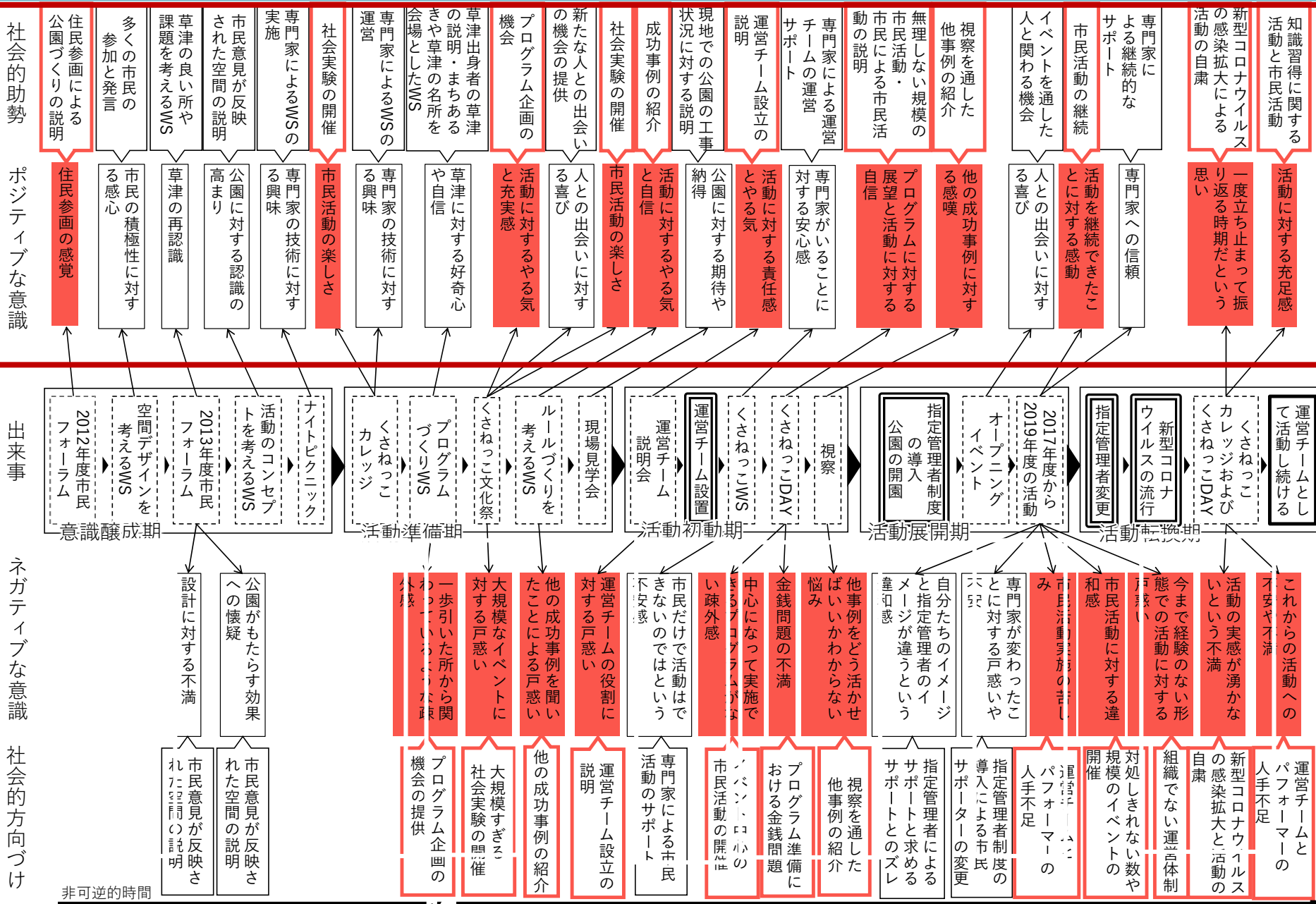


# 市民活動に対する意識変化プロセスと外的要因

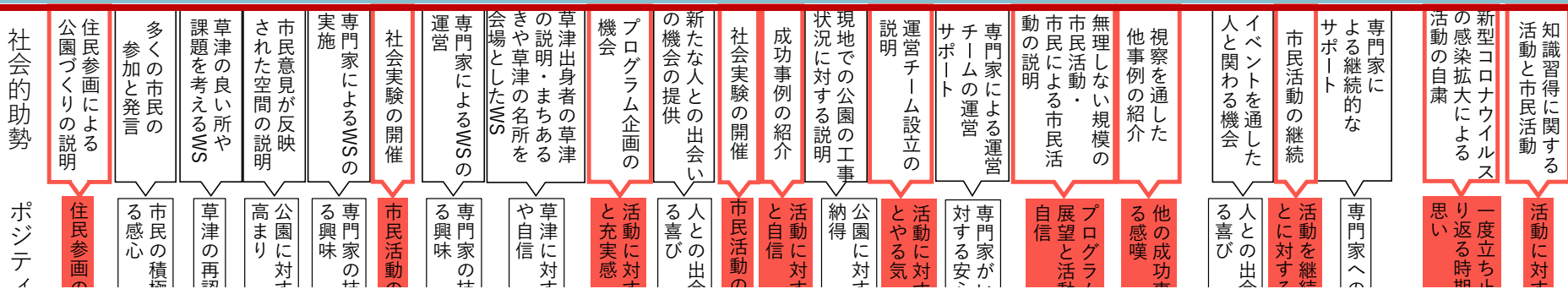




# 市民活動に対する意識変化プロセスと外的要因

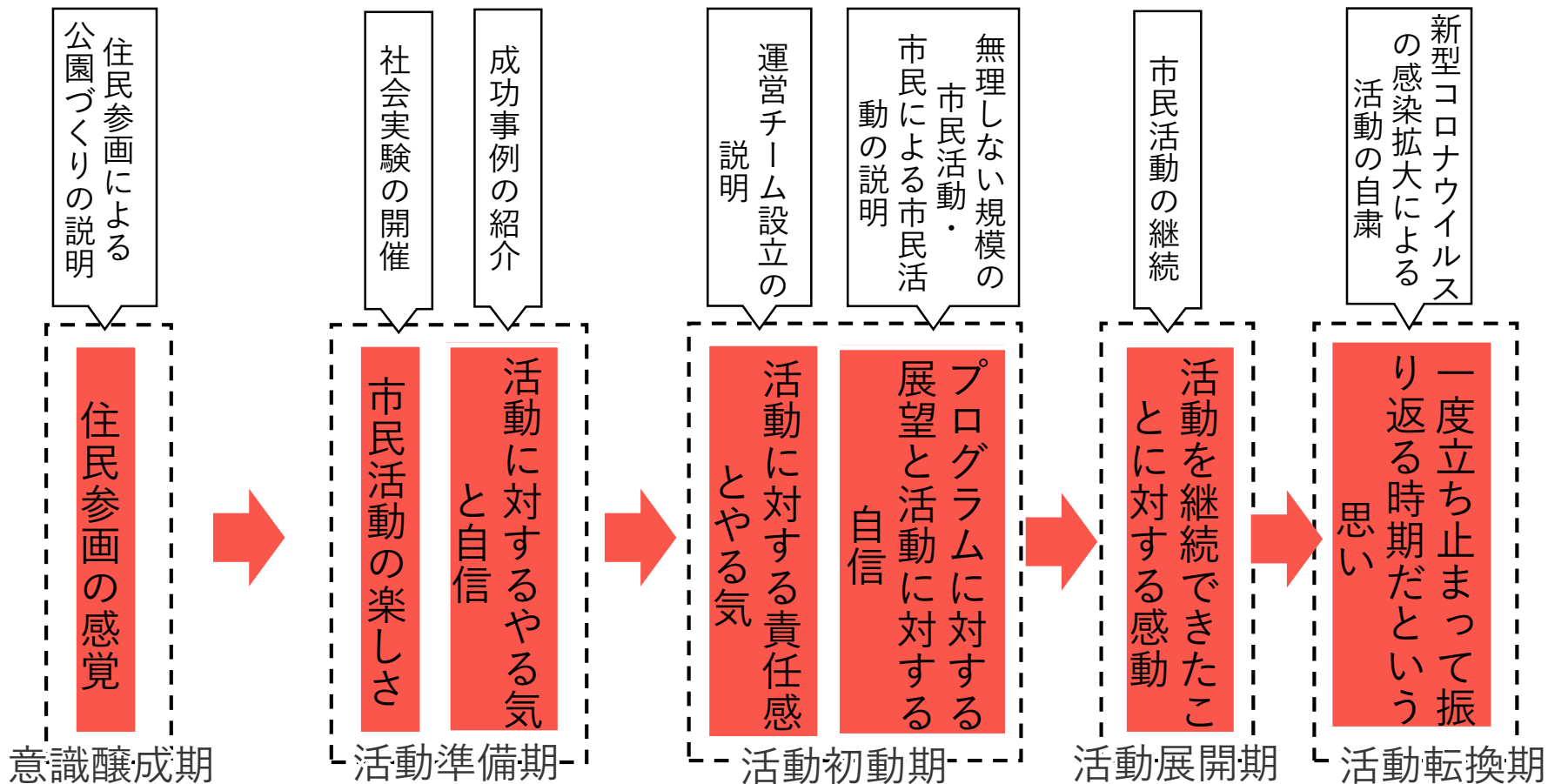


# 市民活動に対する意識変化プロセスと外的要因

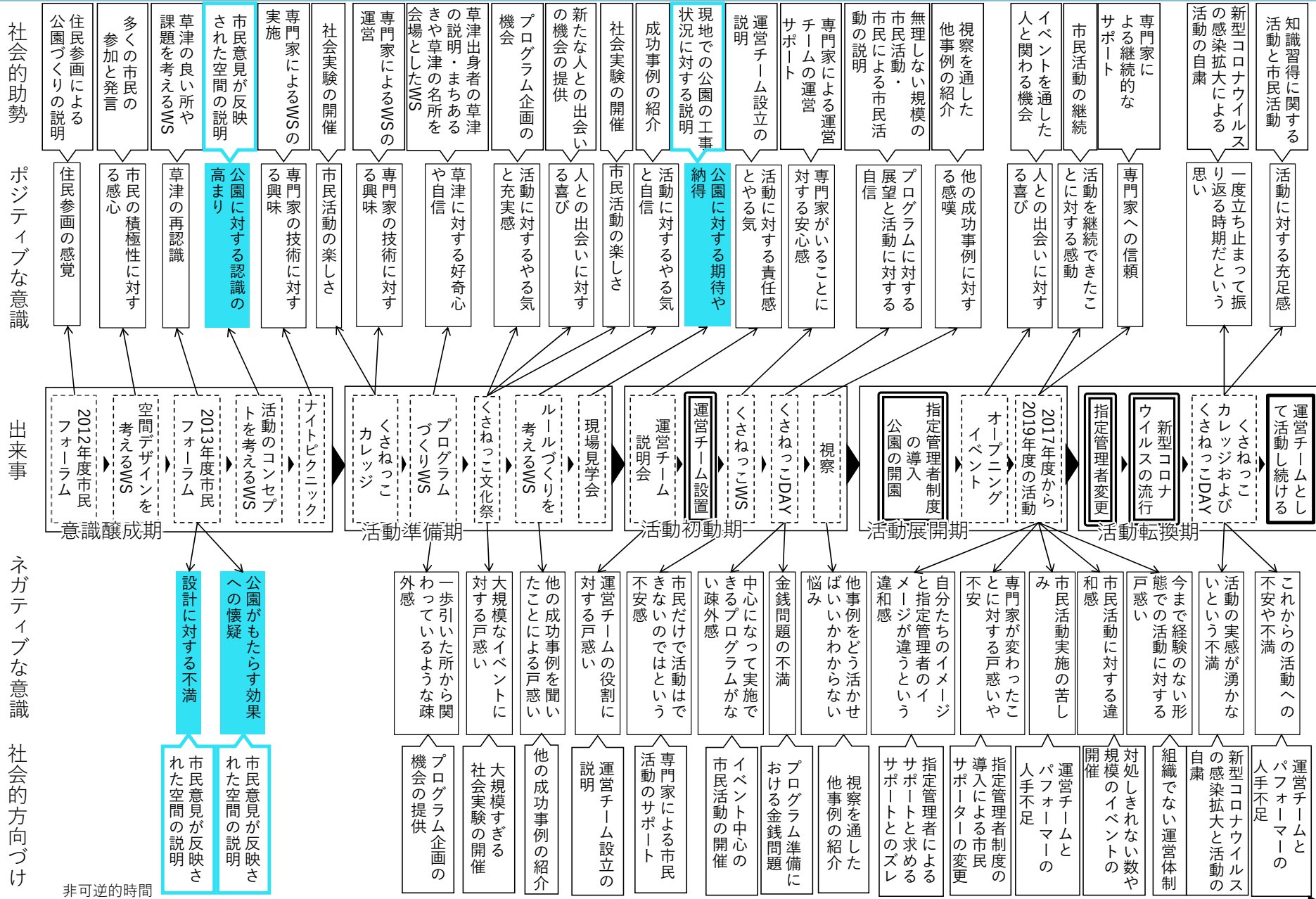


## 社会的助勢

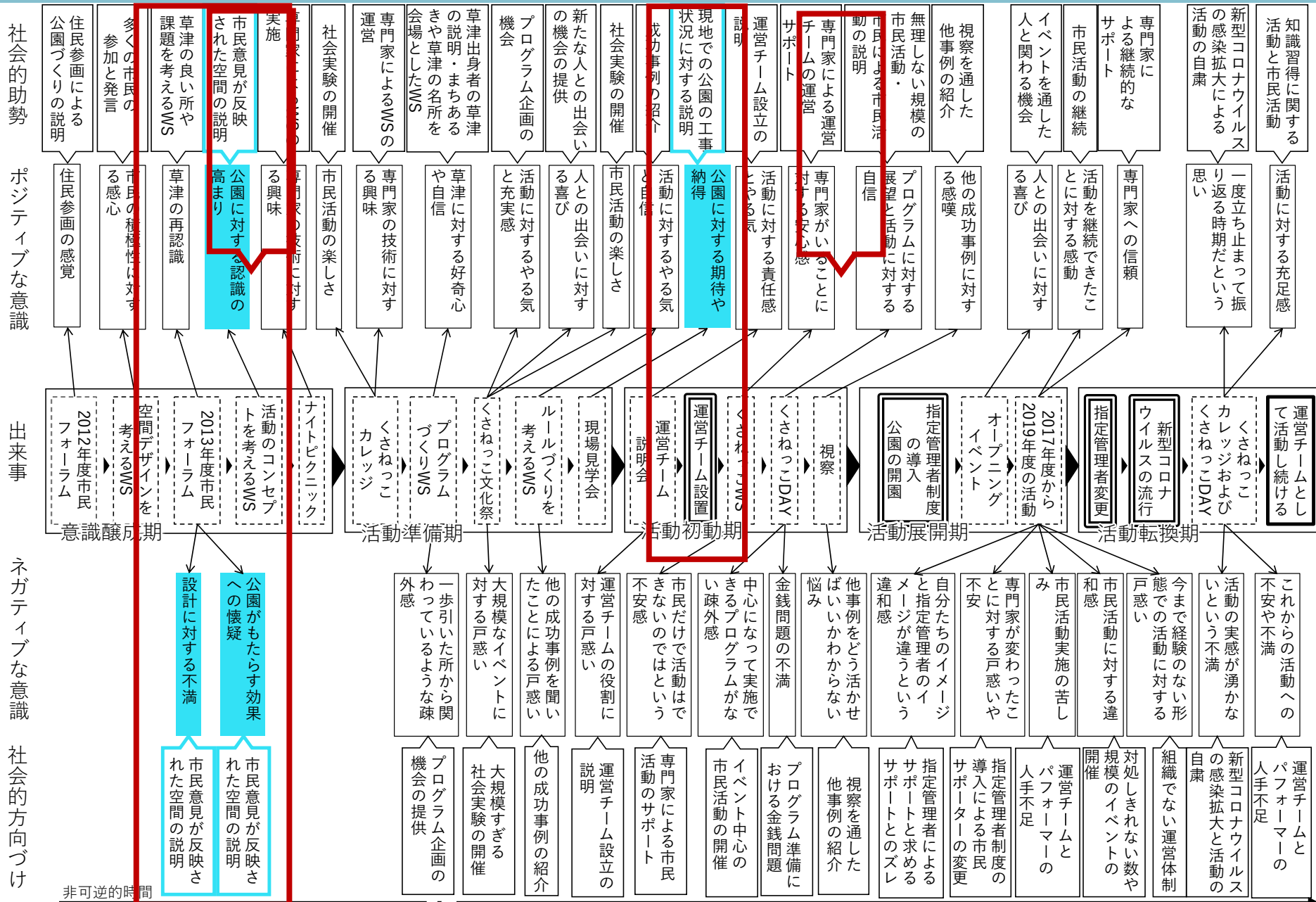
## ポジティブな意識



# 公園に対する意識変化プロセスと外的要因



# 公園に対する意識変化プロセスと外的要因



# 公園に対する意識変化プロセスと外的要因

社会的助勢

ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

社会的方向づけ

公園づくりの説明

住民参画の感覚

フォーラム

意

非

社会的助勢

ポジティブな意識

市民意見が反映された空間の説明

公園に対する認識の高まり

意識醸成期

ネガティブな意識

社会的方向づけ

設計に対する不満

市民意見が反映された空間の説明

公園がもたらす効果への懐疑

市民意見が反映された空間の説明

意識醸成期

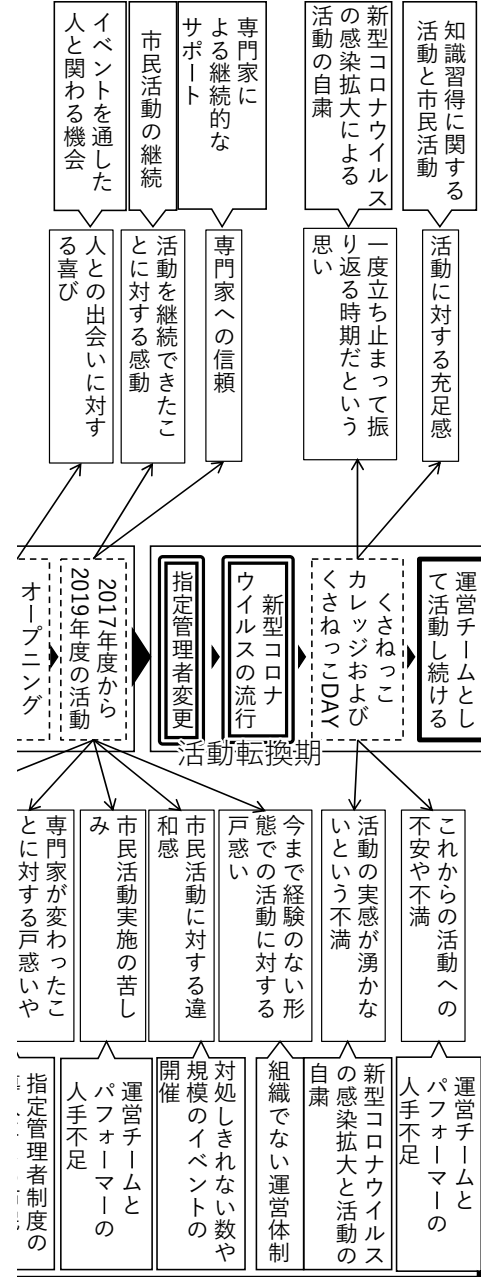
社会的助勢

ポジティブな意識

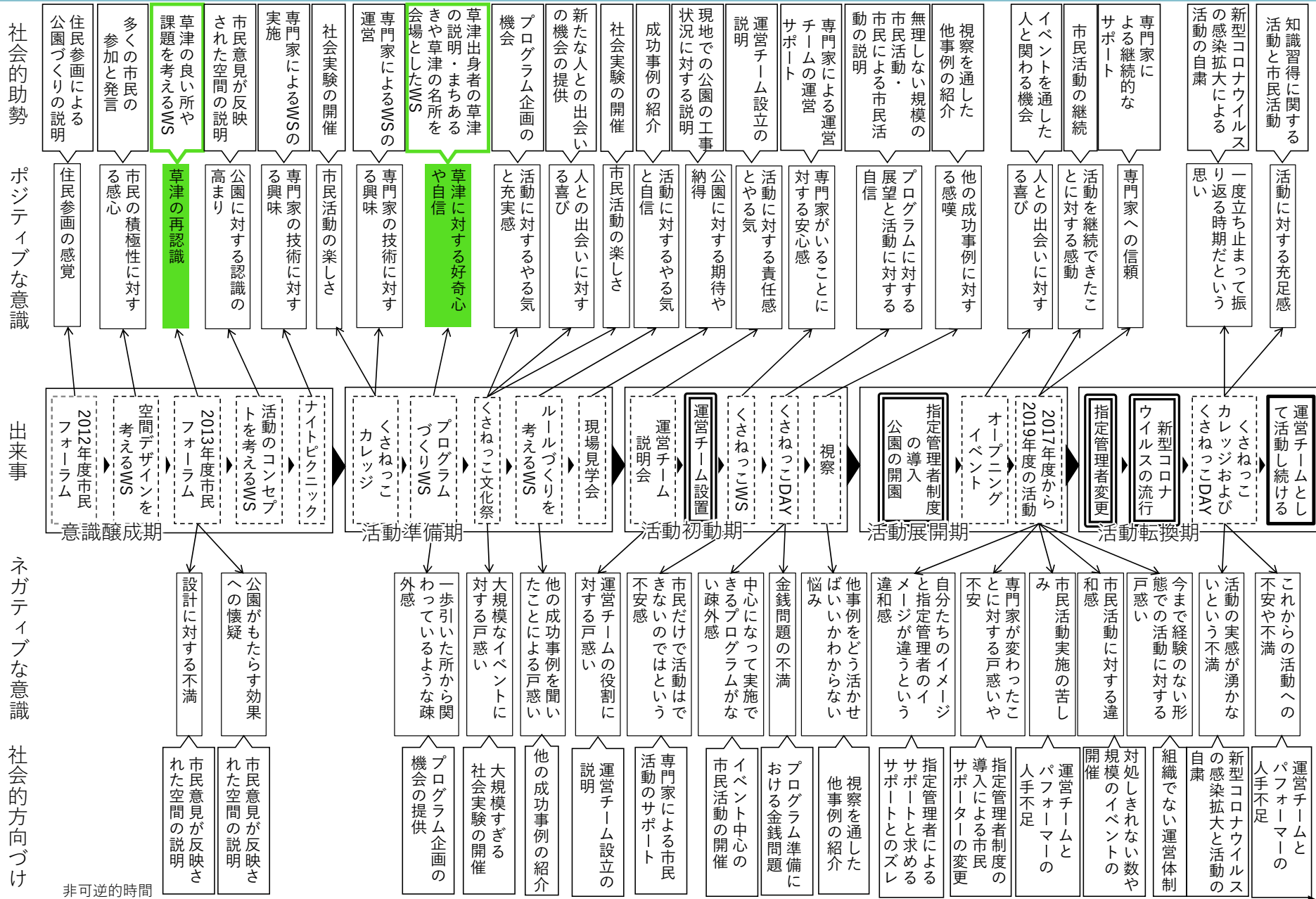
現地での公園の工事状況に対する説明

公園に対する期待や納得

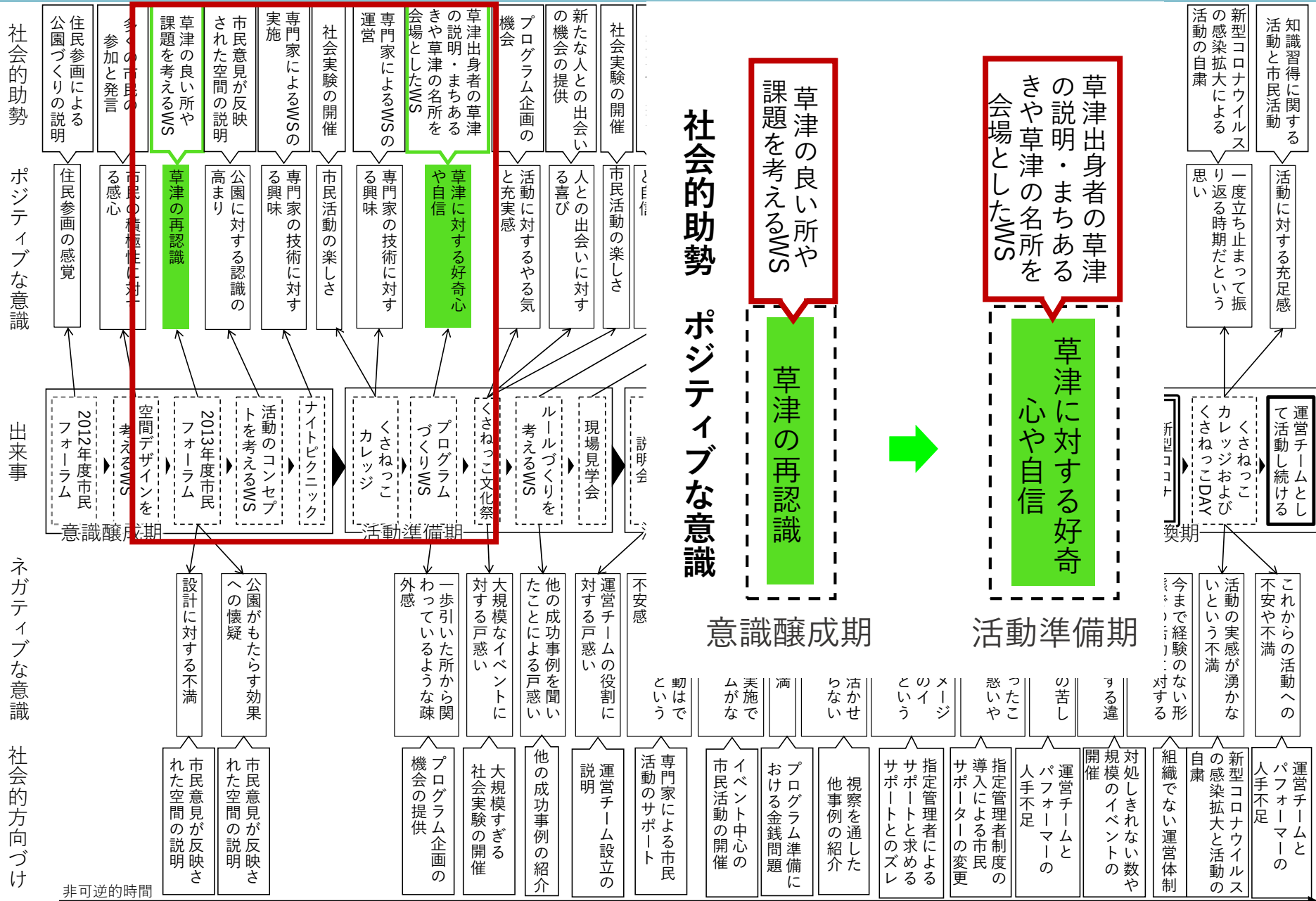
活動準備期



# 草津に対する意識変化プロセスと外的要因



# 草津に対する意識変化プロセスと外的要因



# 活動メンバーに対する意識変化プロセスと外的要因

社会的助勢

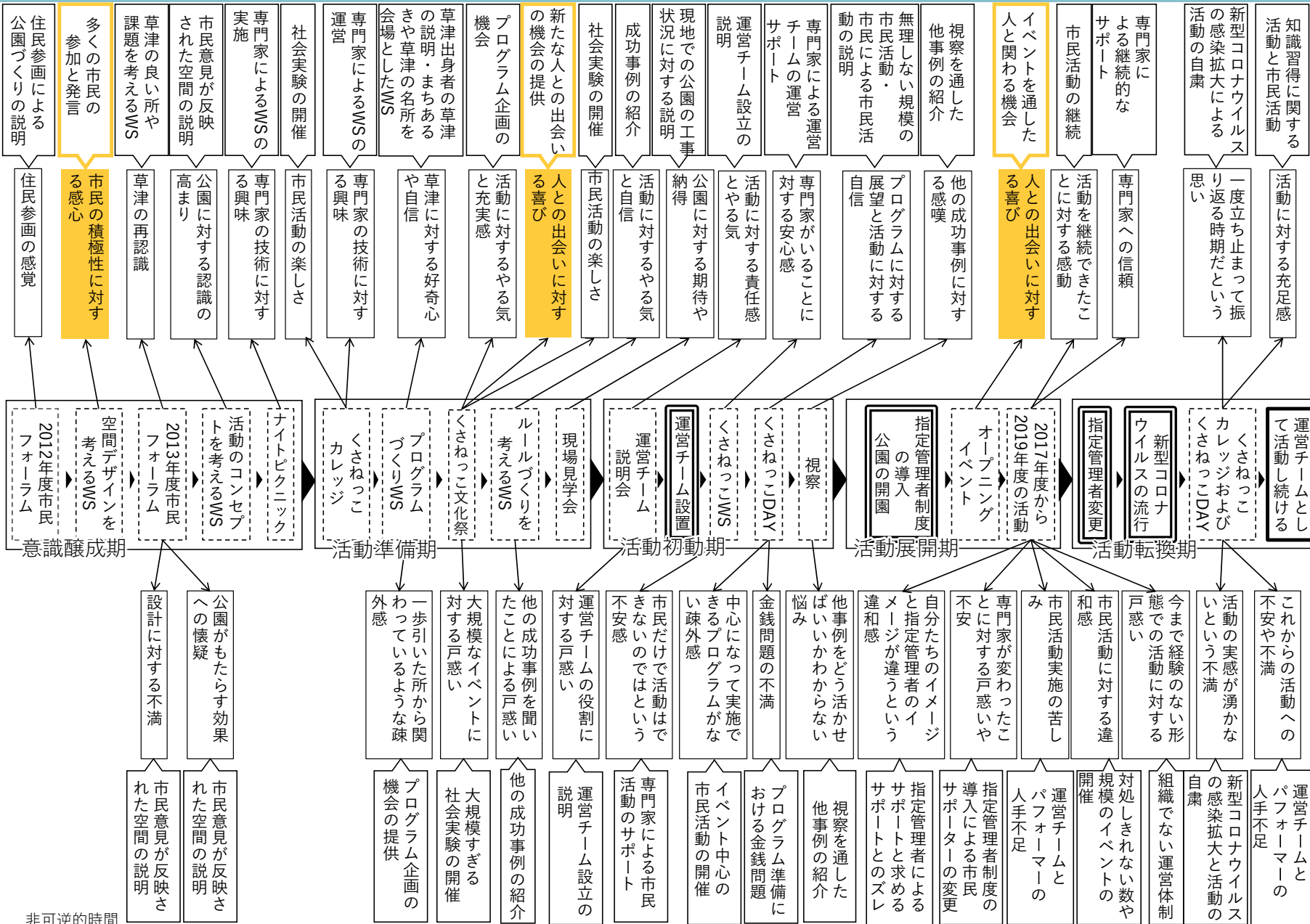
ポジティブな意識

出来事

ネガティブな意識

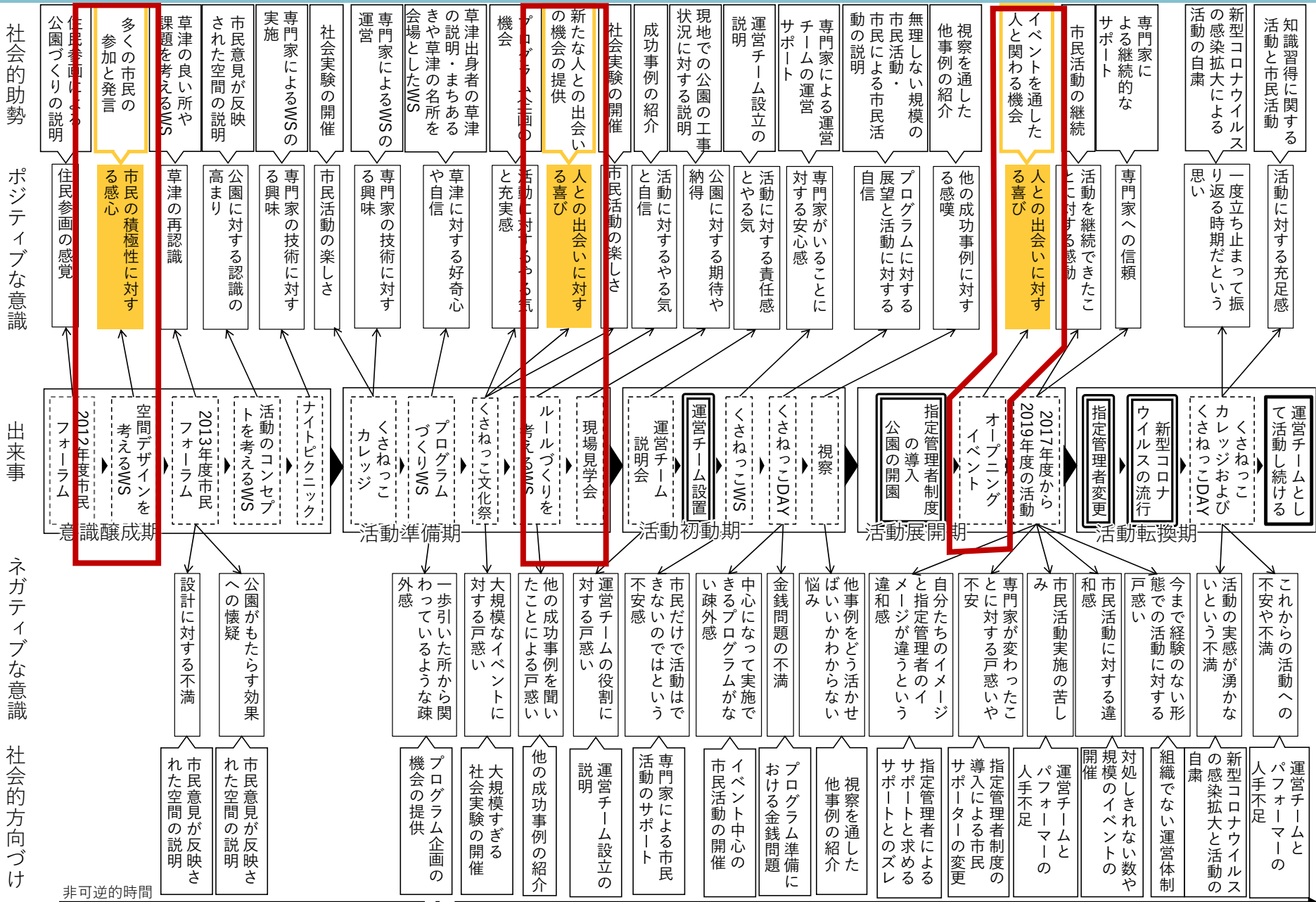
社会的方向づけ

非可逆的時間

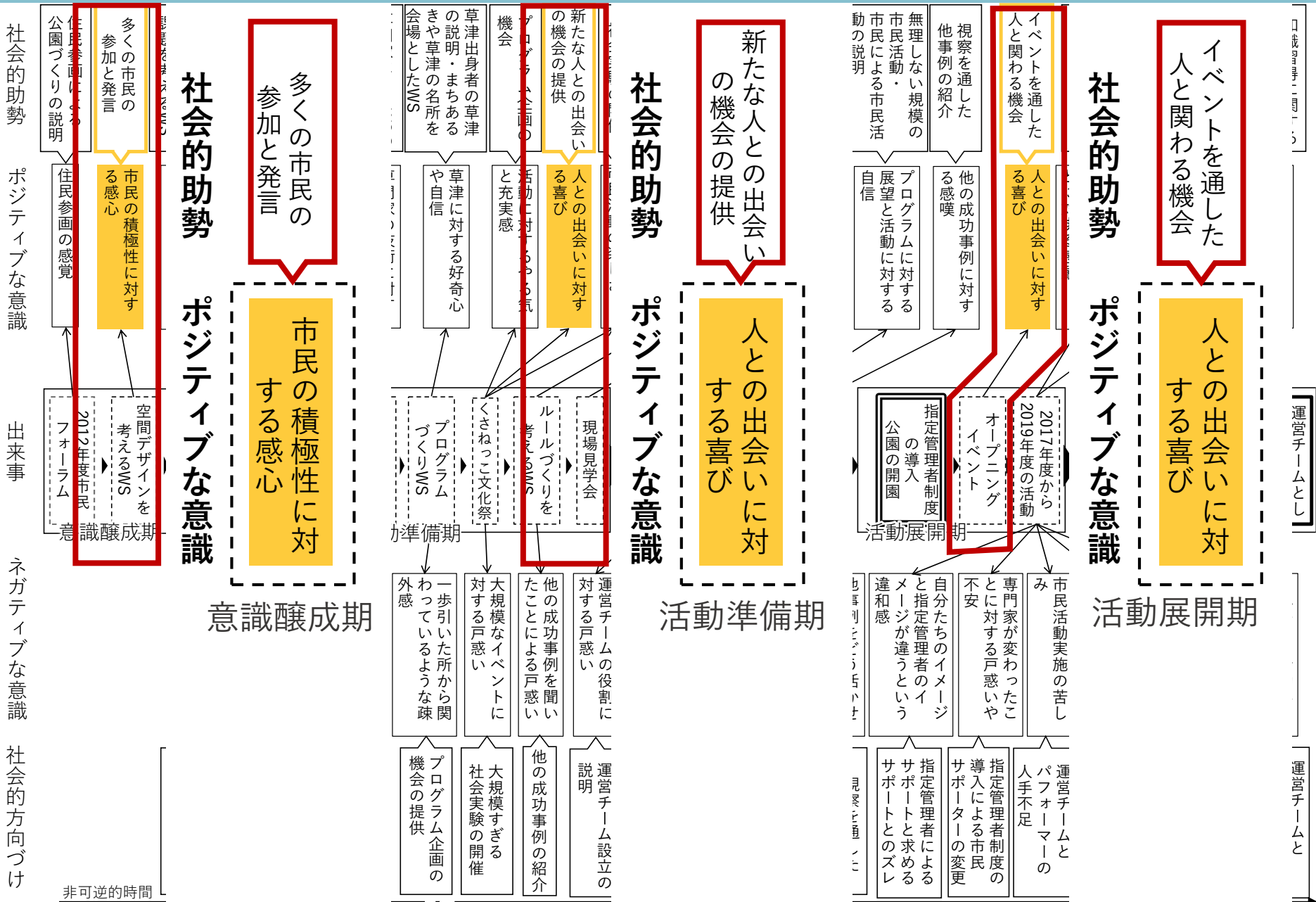




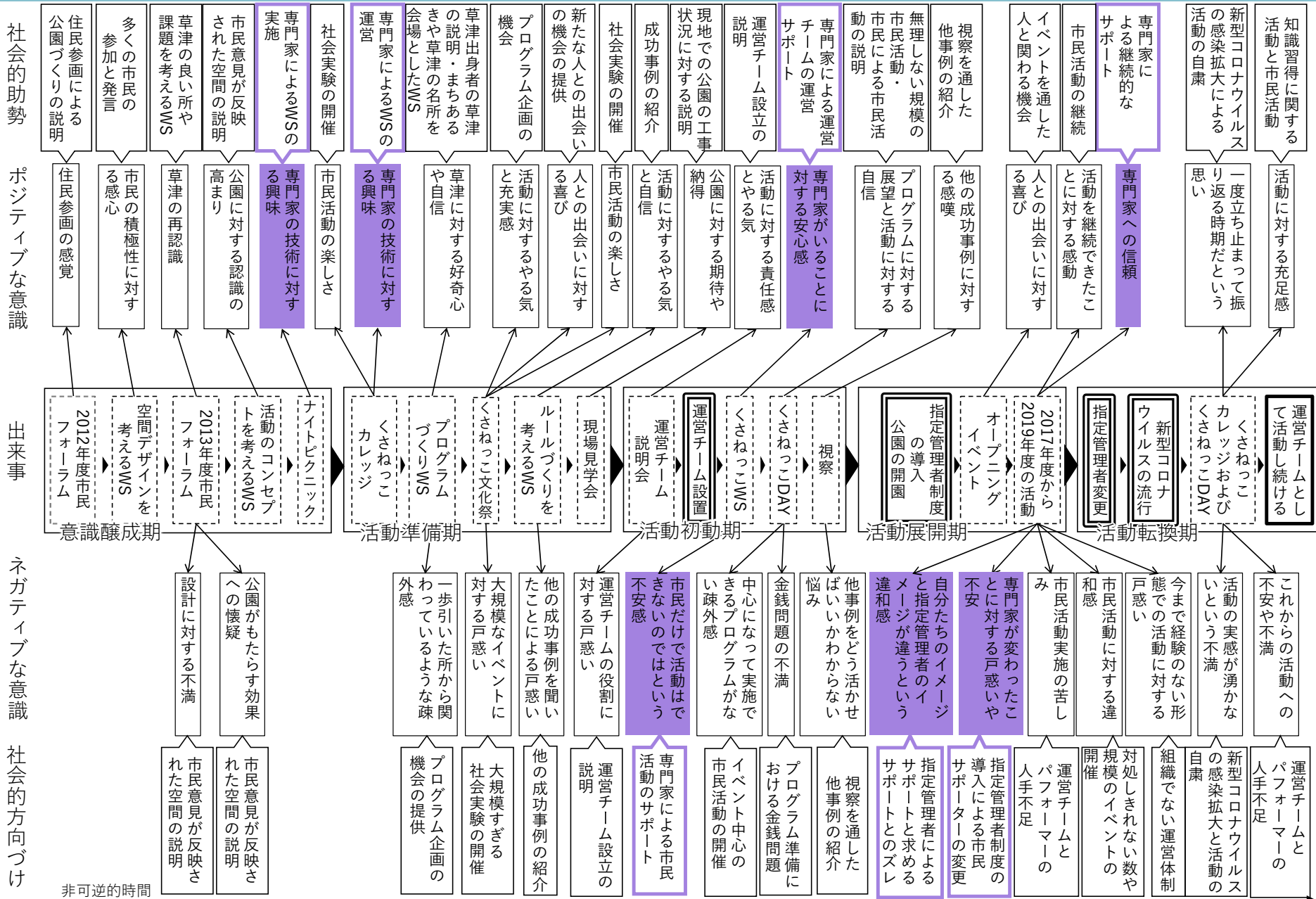
# 活動メンバーに対する意識変化プロセスと外的要因



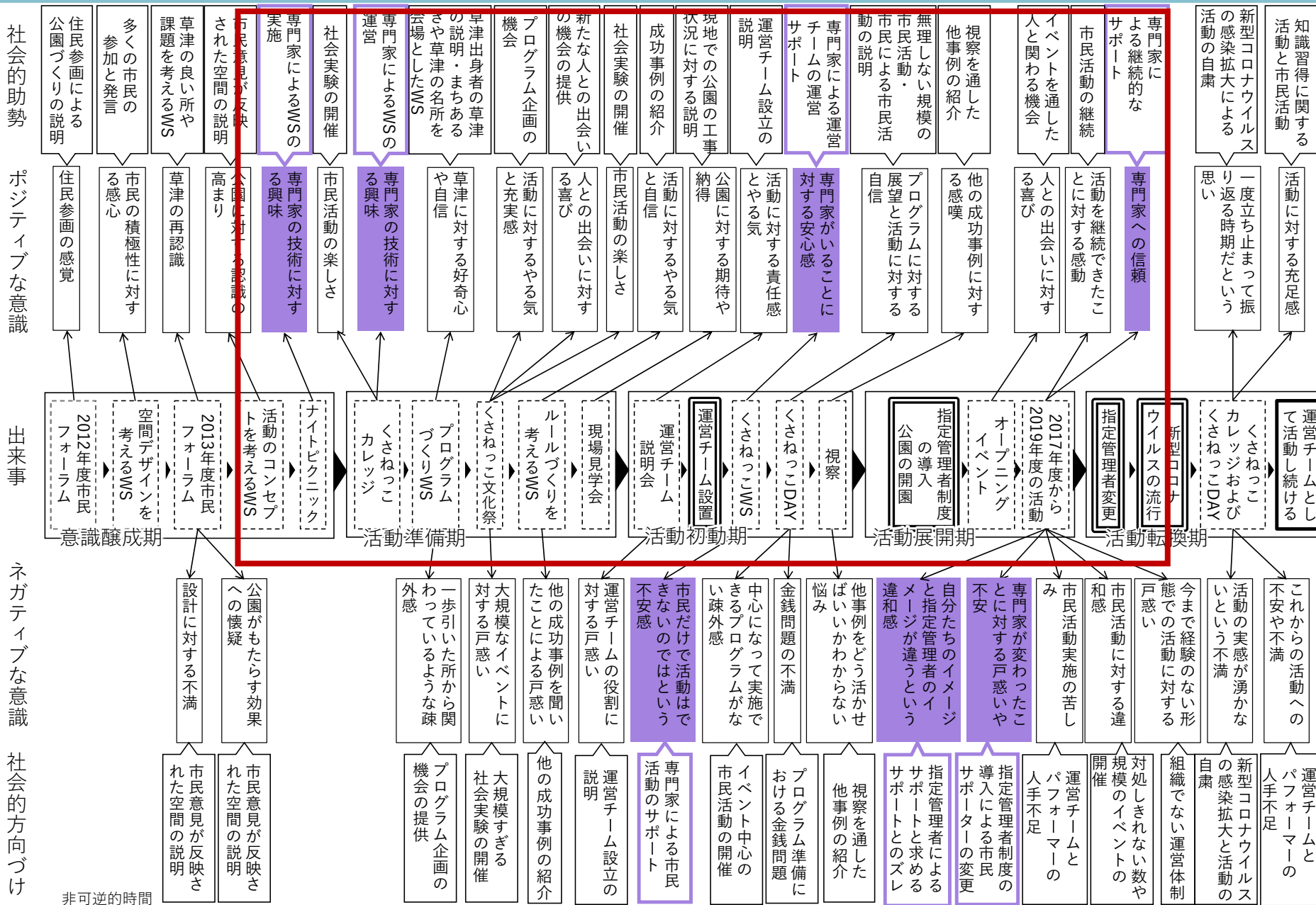
# 活動メンバーに対する意識変化プロセスと外的要因



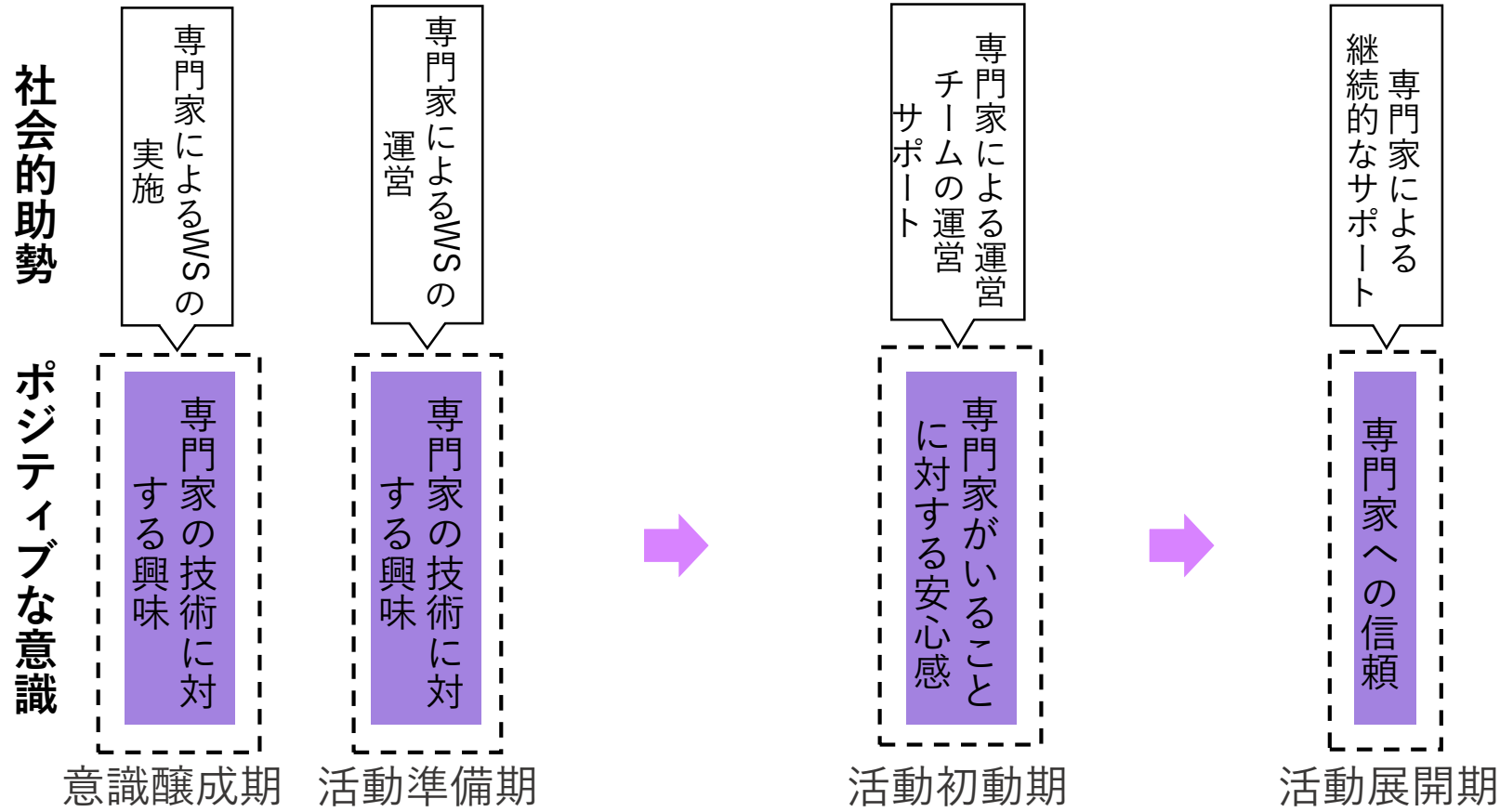
# 専門家に対する意識変化プロセスと外的要因



# 専門家に対する意識変化プロセスと外的要因



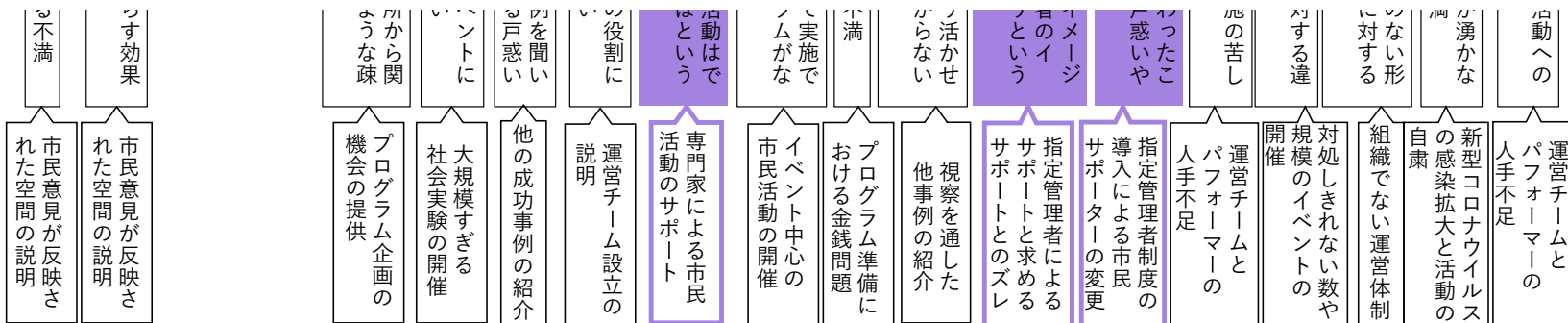
# 専門家に対する意識変化プロセスと外的要因



な意識

社会的方向づけ

非可逆的時間



# 住民参画型公園づくりにおける参加者に対するエンパワメントの方法

## ①市民活動を持続的に展開してもらうためのエンパワメント

- ・活動に対する楽しさから、やる気や責任感といった主体性を育み、活動に対する感動や反省といった、より高次の意識に至るプロセスを生む
- ・プログラムの企画や社会実験による成功体験を重ねた後に組織を作り、身の丈に応じた活動を繰り返す

## ②公園や地域に対する理解から期待へと意識を高めるためのエンパワメント

- ・対象に対する理解を深めるプロセスを生む
- ・丁寧な説明や課題整理の後に現地での体感や新たな発見をする

## ③活動メンバーや専門家といった人との関係を築くためのエンパワメント

- ・モチベーションの向上というプロセスを生む
- ・定期的に新しいメンバーと出会える機会を設けることや専門家による継続的なサポートの実施